

## X 環境保全と事業実施上の留意点



## 1. 植物の保護について

スリ・ランカには、1938年、イギリス統治下で定められた動植物保護に関する法令を土台に、1964年に新政府により、新たに設定された法令 (Fauna and Flora Protection Ordinance) がある。この法令はスリ・ランカ国内に、野生動植物を保護すべき地域を定め、その地域内における動植物の徹底した保護を図るもので、重要度に応じて、規制の程度を変えてある。1988年現在の規制地域と面積は次のとおりである。

(1) Strict Natural Reserve	31,575ha
(2) National Park	488,873
(3) Jungle Corridor	10,363
(4) Nature Reserve	26,107
(5) Sanctuary	227,974
合 計	784,896ha

これら規制面積の合計は、スリ・ランカの全面積(6万5,610km<sup>2</sup>)の8.4%にあたる。これに政府管掌の国有林3万4,600haを加え、法令で定められている Intermediate Zone (中間地帯) 等を加えると112万3,200haとなり、全面積の17.1%に厳しい法の網がかぶせられていることになる。1985年以降は、この面積は変化していないが、1985年に Mahaweli Environmental Project によって、いくつかの National Park が設定されたことと、Wasgamuwa の Strict Natural Reserve が National Park に編入されたため、1984年に比べ National Park 面積が増大した。

これらの規制地域内の規制事項は次のとおりである。

まず人の出入りであるが、Strict Natural Reserve がもっとも厳しく、主に研究目的で許可を得た人以外は入ることができない。

次が National Park であり、研究または動植物を観察するために、手数料を払って入ることが許可される。Natural Reserve および Jungle Corridor には目的の規制はないが、許可が必要である。

いずれの地域にも共通する禁止行為は、地域内におけるほ乳動物の殺害や、すべての部分の持出し、爬虫類、鳥類の殺害、持出し、巣と卵を壊すこと、植物を傷つけたり、採集し、持ち出すことである。また、鉄砲や爆発物の持込み、動物をおびやかすこと、火を燃やすこと、土を掘ることなどである。

ペットや家畜を連れ込むことも禁止され、管理者(国)は放たれた動物を捕獲することができる。この場合、捕獲してから28日以内であれば、飼い主は、申し出て、罰金を払えば引き取ることができる。

また、すべての開発行為も原則として禁止されている。

このように植物については、これら地域から根つきのものでなくても、種子の採集も禁止されており、品種改良のためにランを採集することも不可能と考えてよい。

次に、これら地域外の野生動植物の取扱いであるが、野生の象と水牛、鹿、野鳥については細かく、その取扱いが法令で定められている。単に保護するだけでなく、作物に害が著しい時には有害動物として駆除するシステムがある。

地域外の植物については、次の植物は、公または他人の所管にあるものは、採集、移動、枯死させること、傷つけることが禁止され、自分の持ちものであっても、故意に枯死させることは許されない。また、販売することも許されない、と規定されている。

*Dendrobium macarthiae*

*Rhynchosyles retusa*

*Dendrobium heterocarpum*

*Ipsea speciosa*

*Vanda tessellata*

*Vanda spathulata* (以上はラン)

*Sphagnum zeylanicam* ミズゴケの類

*Adansonia digitata* バオバブの木

また、公の場にある *Tamarindus indica* (タマリンド、永年性木本植物) も同様である。

さらに、以上の植物以外であっても、スリ・ランカの特定の植物の輸出、栽培は、自生植物の植生と植物の保護のために規制される、としている。

最近、この規制リストが大幅に改訂され、9種類だった植物が、102科530種、および3科3属のすべてが規制対象となった。このうち、ランについては、23属35種に及んでいる。前に述べたように、この規制は保護地域以外の場所についての規制であり、本件事業のバンダ (*Vanda*) の品種改良のための自生植物の獲得は極めて困難となった。したがって、スリ・ランカの自生種の遺伝形質を一次的に取り込んだ現地の交配品種を交配親として利用することが、最も現実的な方法と思われる。

<植物の輸出について>

スリ・ランカに野生している植物を輸出する場合、保護法令を順守しなければならないが、リストに記載(保護植物)以外のものも、輸出については野生生物保護局の事前承認(Clearance Certificate)が必要である。事前承認の手続きを以下に示した。

#### 採集した植物

輸出する植物の種、数量、採集場所などを明記し文面で輸出申請。審査は申請書類のチ

チェックのみで、保護植物でなければ即日認可。1度の申請で多数回の輸出ができるが、審査料は、1～5回分=Rp1,000、6～10回分=Rp1,250、11回以上 Rp1,500。1回の輸出量についての制限はない。

### 栽培した植物

輸出する植物の種、数量、栽培場所などを明記し文面で輸出申請。審査は申請書類のチェックのみで、保護植物でなければ即日認可。採集を制限する意図から、審査料は輸出回数に関係なく50Rpと安くするとともに、希望する輸出回数分の申請が1度で可能となっている。書類審査に加えて、生産現場の調査が抜き打ち的に行われる。この調査にかかる費用は、審査料に含まれる。

## 2. 農業用土地利用について

農業の環境に及ぼす影響について中央環境庁（CEA）の見解は次のとおりである。

- (1) 山地や高地の農家は広範囲に様々な作物を作っているが、耕作が、土壌流亡、農薬や化学肥料による土壌と地下水の汚染、水源の正しくない利用により、環境に大きなインパクトを与えている。こうした問題を解決するため、現在のところ、具体的な規制は傾斜度40度以上の場所では農薬を禁止するということだけである。開発行為を行う場合は、CEAに所定の様式による申請を行い、CEA職員の調査を受け、審査をパスすれば許可される。

その背景には、CEAとしての山地農業の把握が十分とはいえず、現在、山地の農業が現在の環境にどのような影響を与えているか、また、どのようにその緩和手段を講じているか、講じなくてはならないか、を知ることが重要であるという認識がある。

また政府としては、環境保全のために、政府のプランテーションには助成を行っているが、政府管掌以外の共同体や個々の農家に対する援助が必要としている。

それにも増して大切なのは、山地農家に対する、土壌保全、水の有効利用、肥料農薬の適正使用等についての研修と普及を総合した農家教育施策の導入である。

環境保全のうえで、とくに槍玉に上がっているのはタバコ産業である。タバコ産業は非常に経営状態が良く、大面積にタバコを栽培していると同時に、多額の税金を取めている。しかし、タバコの生産は土壌病害に冒されることが問題で、輪作または転作を行わない限り、土壌消毒が必要になる。スリ・ランカでは土壌消毒は熱消毒（蒸気か？）を行うため大量の燃料を必要とするという。これに対しCEAは、タバコ産業に対しては、土壌保全に必要な措置をとくに厳しくするほか、新たに農業を始めようとする人に対するのと同様に傾斜度40度以上の地域でのタバコ栽培の禁止、標高1,500m以上の地域での栽培の禁止、土壌の肥沃度を保持し、高めるた

めの生物的な技術の利用の促進(有機農業の促進)、燃料用木材は購入しないで自己生産することなど、かなり厳しい条件を付けている。

今回の候補地は、傾斜度についてはクリアしているし、ランの生産に要する肥料・農薬は、茶やタバコ生産に比べると問題にならないほど少ないとはいえ、CEAの事前審査をクリアすればよしということではなしに、周囲の環境に及ぼす影響については、事業開始後、常にモニターする態勢を整えることが大切であろう。

#### 〈開発審査の手続きと認可〉

開発行為が認可されるための手続きは次のとおりである。この行為は1988年から始まった。準拠法である National Environmental Act の主旨からすれば、現在あるすべての開発企業を調査しなければ所期の目的は達せられないはずであるが、実際には1988年以後の投資案件についての事前審査を行っているだけである。

#### 企業による申請

申請書類は工業用、農業用と分けられていない。型通りの住所、責任者、企業活動の開始時期、面積、企業内容などのほか、環境にかかわる事項として、次のような項目がある。

- 1) 水の使用量 (何に使うか)、水源 (水道、地下水、流水)
- 2) 排水の質、排水方法、排水の終末はどこか、排水の処理方法
- 3) 廃棄物の種類と量、廃棄方法
- 4) エネルギー消費量
- 5) 機械類の明細と馬力数
- 6) 使用燃料の種類と目的、量
- 7) ガス放出量 (酸化窒素、硫化硫黄、ダスト)
- 8) 騒音、騒音除去の方法
- 9) 廃棄物の利用法
- 10) 今後の企業活動の拡大計画

#### 審査と認可

申請に基づいて現地を確認するとともに、事後の推定、水源の調査、周辺住民の意見聴取などを行う。申請から認可までに1か月を要し、この費用は1,000ルピーであるが、調査、審査に手間がかかる場合は必要経費が要求される。調査、審査はCEAのスタッフが行うが、困難な場合は、他機関の助力を得ることもある。

### 3. 農薬の使用について

農薬の使用規制については、スリ・ランカでも基準が設けられている。まず、CEAの発行した行動計画では、次のように述べている。「今日の農業は農業用化学物質を多量に使い、農家は必要以上の化学物質を使う傾向にある。過剰な化学物質は土壌の表層と地下水を汚染し、土壌を悪化させる」とし、その対策として、化学物質の最適使用法の制定と、永続的な普及教育制度の策定が必要であるとし、同時に土壌、地下水の定期的なモニタリングが不可欠であるとしている。この化学物質には、農業用化学肥料と農薬が含まれる。

現在のところ、化学肥料については、実質的には規制は行われていないが、農薬についてはDA(Department of Agriculture)が使用許可した農薬(Pesticide—狭義には殺虫剤であるが、生育調整剤、殺菌剤がPesticideとして取り扱われている)のリストが発行され、リストに記載されたものは登録農薬として使用することが許可されている。

農薬として発売する場合には、薬の内容、包装の型態、貯蔵法、内容の記載方法等を明確にして申請し、政府の許可を受ける。政府の許可がなければ、農薬の製造、輸入、販売を行うことはできず、違反行為を行った場合は刑事犯として2年以下の監禁刑を科せられる。後述するように、スリ・ランカで許可された農薬には、殺ダニ剤が少ないので、もし輸入する場合には、慎重な調査と配慮が必要である。

1990年に発行された登録農薬を日本式に整理すると、表X-1のようになる。合計で150類、商品数532商品である。なお、そのほかには建築用木材防腐剤、ペイント用剤、家庭用殺虫剤(蚊取り線香など)、家畜用防虫剤、シロアリ専用薬なども含まれているので、実際に農業用に使われているのは、その他を除いた79種類、289商品となる。種類数、商品数とも日本の登録農薬に比べると非常に少なく、約4分の1である。とくに殺ダニ剤が極端に少なく、除草剤、殺菌剤も少ない。理由としては、水稲、茶、ココヤシ以外の作物が相対的に少ないことによると思われる。

一方、日本では既に土壌、地下水汚染の恐れから使用禁止になっているアルドリノや人体毒性の強いメタシトックスやパラコートなどの特定毒物も登録されている。アルドリノについては、ココヤシと森林用樹木の苗木生産だけに許可されていて、面積が狭く、他の適当な殺虫剤がないという配慮があったのだろう。

いずれにしろ、事業実施にあたっては、労働者の健康管理、土壌、地下水汚染に十分留意し、長期にわたる汚染のない農薬の使用を心がけるべきである。

この登録とは別に、完全に禁止されている農薬と使用が制限されている農薬がある。

#### ・使用禁止農薬

2-4-5 T、BHC 混合剤、Captafol、Chlordimeform、DBCP、DDT、1-3 dichloro-propene、EDB、Endrin、Leptophos、Parathion、Quintozone、Thallium Sulphate

・規制の非常に強い農薬

砒素化合物、Gamma BHC、有機水銀、Aldrin、Chlordane、Dieldrin

これらの農薬は日本では現在使用されていないが、かつては使われていた。規制の強い農薬の中で、砒素化合物、Gamma BHC、有機水銀は既に登録から外されており、売買が禁止されている。Aldrinは前述。Chlordane、Dieldrinは白アリ防除用以外は認められていない。禁止農薬、規制農薬から判断すると、徐々に先進国の規制基準に近づいていると判断できる。

表X-1

	農薬種類数	商品数
生長調節剤	4	9
単剤	(3)	(8)
混合剤	(1)	(1)
除草剤	18	143
単剤	(14)	(139)
混合剤	(4)	(4)
殺虫剤	28	140
単剤	(24)	(135)
混合剤	(4)	(5)
殺菌剤	21	56
単剤	(17)	(49)
混合剤	(4)	(7)
殺ダニ剤	3	24
土壌くん製剤	3	8
食糧くん製剤	2	9
その他	71	143
合計	150	532

## 附 属 資 料

1. VI-1 栽培計画関連  
(低地案件)  
(高地案件)

2. VI-2 施設計画関連  
(共通)  
(低地案件)  
(高地案件)

3. VII 経営計画関連  
(低地案件)  
(高地案件)

4. 収集資料リスト



## 附属資料 1. の 1

### VI-1 栽培計画関連

(低地案件)

- VI-A-1 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 1-1 ファレノプシス)
- VI-A-2 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 1-2 ファレノプシス)
- VI-A-3 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-1 バンダ)
- VI-A-4 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-2 バンダ)
- VI-A-5 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-3 バンダ)
- VI-A-6 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-4 バンダ)
- VI-A-7 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 3-1 CP苗)
- VI-A-8 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 3-2 CP苗)
- VI-A-9 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 3-3 CP苗)
- VI-A-10 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 1-1)
- VI-A-11 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 1-2)
- VI-A-12 年度別必要施設 (試験事業)
- VI-A-13 本格事業期間における栽培規模
- VI-A-14 苗ステージ別栽培面積 (試験事業)
- VI-A-15 苗ステージ別栽培面積 (本格事業)
- VI-A-16 苗ステージ別栽培面積 (試験+本格)
- VI-A-17 苗調達計画 (試験事業)
- VI-A-18 年度別栽培費用 (試験事業 ファレノプシス)
- VI-A-19 年度別栽培費用 (試験事業 バンダ)
- VI-A-20 年度別栽培費用 (試験事業 総括)
- VI-A-21 年度別栽培資材費 (試験事業 ファレノプシス)
- VI-A-22 年度別栽培資材費 (試験事業 バンダ-1)
- VI-A-23 年度別栽培資材費 (試験事業 バンダ-2)
- VI-A-24 年度別栽培資材費 (試験事業 2作目合計)
- VI-A-25 年度別園芸資材費 (試験事業)

VI-A-1 連続栽培規模(ハウス規模=㎡)と設置施設(棟数=370㎡/棟) 試験事業分(1-1) 【低地案件】

7月/シラス	1年度			2年度			3年度			4年度													
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(標準設A)																							
栽培規模	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
設置施設棟数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【標準設B】																							
栽培規模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設置施設棟数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【標準設C】																							
栽培規模	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
設置施設棟数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【標準設D】																							
栽培規模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設置施設棟数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*栽培規模にはC.P.苗栽培規模は含まれない。

















VI-A-12 年度別必要施設(試験事業の実栽培規模と設置施設)【低地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
<b>アレアアシス</b>																
標準施設 A	82	368	368	368	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369
年度最大栽培規模(m2)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設置施設棟数(370m2/棟)	311	1,393	1,395	1,422	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480
標準施設 B	82	679	1,761	1,763	1,791	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849
年度最大栽培規模(m2)	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
設置施設棟数(370m2/棟)	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
遮光度80%施設	82	368	368	368	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369	369
年度最大栽培規模(m2)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設置施設棟数(370m2/棟)	761	2,129	2,131	2,159	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218
合計	1	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
<b>バンド</b>																
標準施設	55	251	766	1,229	1,247	1,081	1,260	1,316	1,316	1,303	1,259	1,312	1,245	1,318	1,209	1,309
年度最大栽培規模(m2)	1	1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
設置施設棟数(330m2/棟)	61	239	240	217	249	249	256	256	256	251	251	261	261	265	265	265
年度最大栽培規模(m2)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設置施設棟数(370m2/棟)																
<b>C.P.苗(アレアアシス、バンド共用)</b>																
標準施設	61	239	240	217	249	249	256	256	256	251	251	261	261	265	265	265
年度最大栽培規模(m2)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設置施設棟数(370m2/棟)																

VI-A-13 本格事業期間における栽培規模【低地案件】

	6年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
<b>【試験事業分】</b>											
フレノアシス	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(370m <sup>2</sup> /棟)	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218
バンダ	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(330m <sup>2</sup> /棟)	1,081	1,260	1,316	1,316	1,303	1,259	1,312	1,245	1,318	1,209
CP苗 (フレノアシス・バンダ)	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(370m <sup>2</sup> /棟)	249	256	256	256	251	251	261	261	265	265
<b>【本格事業における拡大分】</b>											
フレノアシス	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(370m <sup>2</sup> /棟)	825	3,790	3,700	以降同数						
バンダ	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	237	1,081	3,299	以降同数						
CP苗 (フレノアシス・バンダ)	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> ) 設置施設棟数(370m <sup>2</sup> /棟)	477	477	477	以降同数						

VI-A-14 苗ステージ別栽培面積(ハウス規模㎡) 試験事業分 【低地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
<b>ファレノシス</b>																
CP苗	37	215	215	216	224	224	224	以降同数								
2インチP苗	82	475	475	477	494	494	494	以降同数								
4インチP苗		286	1,654	1,654	1,665	1,724	1,724	以降同数								
<b>バンダ</b>																
CP苗	24	24	25	1	25	25	32	32	32	27	27	37	37	41	41	41
2インチP苗	55	55	56	1	0	0	0	0	0	61	61	84	84	94	94	94
4インチP苗		196	196	200	4	205	205	261	261	261	217	217	297	297	335	335
6インチP苗(品種選定試験分)		514	1,028	1,175	808	441	441	441	441	441	441	441	294	147	0	0
6インチP苗(その他)		0	0	10	10	540	540	540	540	540	570	570	780	780	880	

\*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。  
ただし、品種選定試験・選抜試験に供するものは栽培期間が長いので、毎年度計上した。

VI-A-15 苗ステージ別栽培面積(ハウス規模㎡) 本格事業分 【低地案件】

	6年度	7	8年度以降
<b>ファレノシス</b>			
CP苗	374	374	374
2インチP苗	825	825	825
4インチP苗		2,875	2,875
<b>バンダ</b>			
CP苗	103	103	103
2インチP苗	237	237	237
4インチP苗		844	844
6インチP苗			2,218

\*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。

VI-A-16 苗ステージ別栽培面積(ハウス規模㎡) 試験事業分+本格事業分 【低地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
<b>ファレノシス</b>																
CP苗	37	215	215	216	224	598	598	以降同数								
2インチP苗	82	475	475	477	494	1,319	1,319	以降同数								
4インチP苗		286	1,654	1,654	1,665	1,724	4,599	以降同数								
<b>バンダ</b>																
CP苗	24	24	25	1	25	128	135	135	135	130	130	140	140	144	144	144
2インチP苗	55	55	56	1	0	237	237	237	237	298	298	321	321	331	331	331
4インチP苗		196	196	200	4	205	1,049	1,105	1,105	1,105	1,061	1,061	1,141	1,141	1,179	1,179
6インチP苗(品種選定試験分)		514	1,028	1,175	808	441	441	441	441	441	441	441	294	147	0	0
6インチP苗(その他)		0	0	10	10	540	2,758	2,758	2,758	2,758	2,788	2,788	2,788	2,998	2,998	3,098

\*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。  
ただし、品種選定試験・選抜試験に供するものは栽培期間が長いので、毎年度計上した。

VI-A-17 苗調達計画 試験事業分 【低地案件】

1年 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16年度以降

ファレノアシス

CP苗栽培規模(1077m <sup>2</sup> )	37	215	215	216	224	224	224	224	以降同数						
1077苗必要数(1077数)	505	2,932	2,932	2,945	3,055	3,055	3,055	3,055	以降同数						
調達法別1077数															
購入(現地)	168	977	977	982	509										
購入(日本)	337	1,955	1,955	1,945	1,018										
実生						9	1,510	1,528	1,528						
組織培養						9	18	1,527	1,527	3,055	以降同数				

バンダ

CP苗栽培規模(1077m <sup>2</sup> )	24	24	25	1	25	25	32	32	32	27	27	37	37	41	41	41
1077苗必要数(1077数)	350	350	357	7	365	365	467	467	467	394	394	540	540	598	598	598
調達法別1077数																
購入(海外)	350	350	350													
購入(日本)	0	0	0													
実生				4	0	183	183									
組織培養				3	7	182	182	467	467	467	394	394	540	540	598	598

\*フランス苗調達数は、ファレノアシスは海外1:日本2、バンダは全て海外とした。

\*□の数字は実生法・組織培養法確立試験に供するもの。

VI-A-18 年度別栽培費用 ファレノブシス 試験事業分 【低地案件】

	単位	1	2	3	4	5	6	7年度以降
<b>(規模)</b>								
購入万刈苗(現地)利用	万刈数	168	977	977	982	509	0	0
購入万刈苗(日本)利用	万刈数	337	1,955	1,955	1,945	1,018	0	0
実生法試験用種子	輪数			6				
組織培養法試験用母株	本数	18						
実生法	万刈数	0	0	9	1,510	1,528	1,528	0
組織培養	万刈数	0	0	9	18	1,527	1,527	3,055
CP苗	m <sup>2</sup> (10x規模)	37	215	215	216	224	224	224
2インチP苗	m <sup>2</sup> (10x規模)	82	475	475	477	494	494	494
4インチP苗	m <sup>2</sup> (10x規模)	0	288	1,654	1,654	1,665	1,724	1,724
<b>(単価)</b>								
購入万刈苗(現地)利用	153,000 円/100本							
購入万刈苗(日本)利用	275,400 円/100本							
実生法試験用種子	50,000 円/箱							
組織培養法試験用母株	10,000 円/本							
実生法	4,588 円/100本							
組織培養	11,010 円/100本							
CP苗	7,736 円/100m <sup>2</sup> (10x規模)							
2インチP苗	9,941 円/100m <sup>2</sup> (10x規模)							
4インチP苗	5,321 円/100m <sup>2</sup> (10x規模)							
<b>(費用)</b>								
購入万刈苗(現地)利用	1,000円	257	1,495	1,495	1,502	779	0	0
購入万刈苗(日本)利用	1,000円	928	5,384	5,384	5,357	2,804	0	0
実生法試験用種子	1,000円	0	0	300	0	0	0	0
組織培養法試験用母株	1,000円	180	0	0	0	0	0	0
実生法	1,000円	0	0	0	69	70	70	0
組織培養	1,000円	0	0	1	2	168	168	336
CP苗	1,000円	3	17	17	17	17	17	17
2インチP苗	1,000円	8	47	47	47	49	49	49
4インチP苗	1,000円	0	15	88	88	89	92	92
(計)	1,000円	1,376	6,958	7,332	7,082	3,976	396	494

- \*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。
- \*実生・組織培養は、必要年度の前年に行う。
- \*実生法・組織培養法確立試験には、購入した種子・開花株を用いる。両作目ともに花茎の生長点を用いるが、7/17/17/17は良質生長点の確保に時間がかかるので、試験は16/16より一年遅れた実施となる。
- \*本表では、実生法・組織培養法試験のために導入する母株・種子の品種保存について考慮していないが、将来の売値も含まれるので、別途、保存のための継続栽培など行うべきである。

IV-A-19 年度別栽培費用 バンダ 試験事業分 【低地案件】

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
(規模)																
購入7777苗(現地)利用	7777墩	350	350	350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
購入7777苗(日本)利用	7777墩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実生法試験用種子	箱数		20													
組織培養法試験用母株	本数	60														
実生法	7777墩	0	4	0	183	183	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織培養	7777墩	0	3	7	182	182	467	467	467	394	394	540	540	398	398	398
CP苗	m2(1077規模)	24	24	25	1	25	25	32	32	32	27	27	37	37	41	41
2インチP苗	m2(1077規模)	55	55	56	1	0	0	0	0	0	61	61	84	84	94	94
4インチP苗	m2(1077規模)	0	196	196	200	4	205	205	261	261	261	217	217	297	297	335
6インチP苗	m2(1077規模)	0	0	514	1,028	1,185	818	981	981	981	981	1,011	864	927	780	880

(単価)

購入7777苗(現地)利用	459,000 円/100本
実生法試験用種子	50,000 円/箱
組織培養法試験用母株	10,000 円/本
実生法	4,588 円/100本
組織培養	11,010 円/100本
CP苗	7,797 円/100m2(1077規模)
2インチP苗	10,614 円/100m2(1077規模)
4インチP苗	5,444 円/100m2(1077規模)
6インチP苗	3,578 円/100m2(1077規模)

(費用)

購入7777苗(現地)利用	1,000円	1,607	1,607	1,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
購入7777苗(日本)利用	1,000円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実生法試験用種子	1,000円	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織培養法試験用母株	1,000円	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種子培養	1,000円	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実生法	1,000円	0	0	1	20	20	51	51	51	43	43	59	59	66	66	66
CP苗	1,000円	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
2インチP苗	1,000円	6	6	6	0	0	0	0	0	0	6	6	9	9	10	10
4インチP苗	1,000円	0	11	11	11	0	11	11	14	14	14	12	12	16	16	18
6インチP苗	1,000円	0	0	18	37	42	29	35	35	35	35	35	36	31	33	28
(計)	1,000円	2,215	2,626	1,645	76	72	93	99	102	94	100	114	119	125	128	125

- \*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。  
ただし、品種選定試験・選抜試験に供するものは栽培期間が長いので、毎年度計上した。
- \*実生・組織培養は、必要年度の前年に行う。
- \*本表では、実生法・組織培養法試験のために導入する母株・種子の品種保存について考慮していないが、将来の売値も含まれるので、別途、保存のための継続栽培など行うべきである。

VI-A-20 年度別栽培費用 総括 試験事業分 【低地案件】

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
フレノシアス(計)	1,000円	1,376	6,958	7,332	7,082	3,976	396	494	494	494	494	494	494	494	494	494
バンダ(計)	1,000円	2,215	2,626	1,645	76	72	93	99	102	94	100	114	119	125	128	125
合計	1,000円	3,591	9,584	8,977	7,158	4,048	489	593	596	588	594	608	613	619	622	619

## 年度別栽培資材費 ファレノプシス 試験事業 【低地案件】

		1	2	3	4	5	6	7	8年度以降
<b>CP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> )		37	215	215	216	224	224	224	224
当年度拡大栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> 、前年比)			178	0	0	8	0	0	0
※1新規購入対象の規模(m <sup>2</sup> )		37	178	0	0	8	0	0	0
※1新規購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )		21	21	21	21	21	21	21	21
※1新規購入数(100個)		8	37	0	0	2	0	0	0
※1補足購入対象の規模(前年度m <sup>2</sup> )			37	215	216	224	224	224	224
※1補足購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )			4	4	4	4	4	4	4
※1補足購入数(100個)			1	9	9	9	9	9	9
当年度※1購入数(100個)			8	38	9	9	11	9	9
培養土資材必要率(同=m <sup>3</sup> /100※1)		0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
培養土資材必要量(m <sup>3</sup> )		0.240	1.140	0.270	0.270	0.330	0.270	0.270	0.270
<b>2インチP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> )		82	475	475	477	494	494	494	494
当年度拡大栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> 、前年比)			393	0	0	17	0	0	0
※1新規購入対象の規模(m <sup>2</sup> )		82	393	0	0	17	0	0	0
※1新規購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )		126	126	126	126	126	126	126	126
※1新規購入数(100個)		103	495	0	0	21	0	0	0
※1補足購入対象の規模(前年度m <sup>2</sup> )			82	475	475	477	494	494	494
※1補足購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )			25	25	25	25	25	25	25
※1補足購入数(100個)			21	119	119	119	124	124	124
当年度※1購入数(100個)			103	516	119	119	140	124	124
培養土資材必要率(同=m <sup>3</sup> /100※1)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
培養土資材必要量(m <sup>3</sup> )		0.721	3.612	0.833	0.833	0.950	0.868	0.868	0.868
<b>4インチP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> )		0	286	1,654	1,654	1,665	1,724	1,724	1,724
当年度拡大栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> 、前年比)			286	1,368	0	0	59	0	0
※1新規購入対象の規模(m <sup>2</sup> )		0	286	1,368	0	0	59	0	0
※1新規購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )		30	30	30	30	30	30	30	30
※1新規購入数(100個)		0	86	410	0	0	18	0	0
※1補足購入対象の規模(前年度m <sup>2</sup> )			0	286	1,654	1,654	1,665	1,724	1,724
※1補足購入必要率(対の規模 個/m <sup>2</sup> )			6	6	6	6	6	6	6
※1補足購入数(100個)			0	17	99	99	100	103	103
当年度※1購入数(100個)			0	86	427	99	99	118	103
培養土資材必要率(同=m <sup>3</sup> /100※1)		0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
培養土資材必要量(m <sup>3</sup> )		0.000	3.010	14.945	3.465	3.465	4.130	3.695	3.695
-----									
資材(※1)=円/100個)	CP=	1,224	207P=	612	407P=	1,224			
(培養土資材=円/m <sup>3</sup> )	CP用=	4,912	207P用=	10,710	407P用=	10,710			
-----									
栽培資材費ポット	(1000円)	73	468	697	205	220	231	213	213
培養土資材	(1000円)	9	77	170	47	49	54	49	49
(70/17)合計	(1000円)	82	545	777	252	269	285	262	262
-----									

\*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。

\*1ポット収容培養土資材量は、 CP 300 ml  
207P 70 ml  
407P 350 ml

\*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。

VI-A-22 年度別栽培資材費 バンダー1 試験事業 【低地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
<b>CP苗栽培</b>																
当年度栽培ハウス規模(m2)	24	24	25	1	25	25	32	32	32	27	27	37	37	41	41	41
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年)	0	1	0	0	25	0	7	0	0	0	0	10	0	4	0	0
※外新規購入対象の規模(m2)	24	0	1	0	25	0	7	0	0	0	0	10	0	4	0	0
※外新規購入必要率(対前規模)	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
※外新規購入数(100個)	5	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0
※外補足購入対象の規模(前年度m2)	24	24	24	25	1	25	25	32								
※外補足購入必要率(対前規模 個/m)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
※外補足購入数(100個)	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度※外購入数(100個)	5	1	1	1	5	1	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0
培養土資材必要率(同=m3/100個)	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
培養土資材必要量(m3)	0.150	0.030	0.030	0.030	0.150	0.030	0.060	0.030	0.000	0.000	0.000	0.060	0.000	0.030	0.000	0.000
<b>2インチP苗栽培</b>																
当年度栽培ハウス規模(m2)	55	55	56	1	0	0	0	0	0	61	61	84	84	94	94	94
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	61	0	23	0	10	0	0
※外新規購入対象の規模(m2)	55	0	1	0	0	0	0	0	0	61	0	23	0	10	0	0
※外新規購入必要率(対前規模)	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136
※外新規購入数(100個)	75	0	1	0	0	0	0	0	0	83	0	31	0	14	0	0
※外補足購入対象の規模(前年度m2)	55	55	56	1	0	0	0	0								
※外補足購入必要率(対前規模 個/m)	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
※外補足購入数(100個)	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度※外購入数(100個)	75	15	16	15	0	0	0	0	0	83	0	31	0	14	0	0
培養土資材必要率(同=m3/100個)	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007
培養土資材必要量(m3)	0.525	0.105	0.112	0.105	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.581	0.000	0.217	0.000	0.098	0.000	0.000
<b>4インチP苗栽培</b>																
当年度栽培ハウス規模(m2)	0	196	196	200	4	205	205	261	261	261	217	217	297	297	335	335
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年)	196	0	4	0	201	0	56	0	0	0	0	0	80	0	38	0
※外新規購入対象の規模(m2)	0	196	0	4	0	201	0	56	0	0	0	0	80	0	38	0
※外新規購入必要率(対前規模)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
※外新規購入数(100個)	0	83	0	1	0	64	0	18	0	0	0	0	26	0	12	0
※外補足購入対象の規模(前年度m2)	0	196	196	200	4	205	205	261	261	261	217	217	297	297	335	335
※外補足購入必要率(対前規模 個/m)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
※外補足購入数(100個)	0	12	12	12	0	12	12	16	16	16	13	13	18	18	20	20
当年度※外購入数(100個)	0	63	12	13	12	64	12	30	16	16	13	13	18	18	30	20
培養土資材必要率(同=m3/100個)	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035
培養土資材必要量(m3)	0.000	2.205	0.420	0.455	0.420	2.240	0.420	1.050	0.560	0.560	0.560	0.455	1.365	0.630	1.050	0.700
資材(※外=円/100個) CP= 1,224      2インチP= 612      4インチP= 1,224 (培養土資材=円/m3CP用= 3,856      2インチP用 5,967      4インチP用 13,556																
<b>栽培資材ポット</b>																
(1000円)	52	87	26	26	21	79	17	38	20	71	20	37	48	32	37	24
培養土資材 (1000円)	4	31	7	7	7	30	6	14	8	11	8	7	19	10	14	9
(バンダー1 (1000円))	56	118	33	33	28	109	23	52	28	82	28	44	67	42	51	33

\*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。  
 \*1ポット収容培養土資CP 300 ml  
 2インチP 70 ml  
 4インチP 350 ml  
 \*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。

VI-A-23 年度別栽培資材費 バンダー2 試験事業 【低地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降	
<b>6インチP苗栽培</b>																	
当年度栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> )	0	0	514	514	524	10	687	687	687	540	540	570	570	780	780	880	
当年度前大栽培ハウス規模(m <sup>2</sup> , 前年比)		0	514	0	10	0	677	0	0	0	0	30	0	210	0	100	
*1新規購入対象ハウス規模(m <sup>2</sup> )	0	0	514	0	10	0	677	0	0	0	0	30	0	210	0	100	
*1新規購入必要率(対前規模 個/m <sup>2</sup> )	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
*1新規購入数(100個)	0	0	51	0	1	0	68	0	0	0	0	3	0	21	0	10	
*1補足購入対象ハウス規模(前年度m <sup>2</sup> )		0	0	514	514	524	10	687	687	687	540	540	570	570	780	780	
*1補足購入必要率(対前規模 個/m <sup>2</sup> )		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
*1補足購入数(100個)		0	0	10	10	10	0	14	14	14	11	11	11	11	16	16	
当年度*1購入数(100個)	0	0	51	10	11	10	68	14	14	14	11	11	11	32	16	26	
培養土資材必要率(同・m <sup>3</sup> /100*1ポット)	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	
培養土資材必要量(m <sup>3</sup> )	0.000	0.000	5.610	1.100	1.210	1.100	7.480	1.540	1.540	1.540	1.210	1.540	1.210	3.520	1.760	2.860	
資材(*1ポット/100個)	6万円P=	1,836															
(培養土資材・円/m <sup>3</sup> )	6万円P用=	13556															
栽培資材費ポット	(1000円)	0	0	94	18	20	18	125	26	26	26	20	26	20	59	29	48
培養土資材	(1000円)	0	0	76	15	16	15	101	21	21	21	16	21	16	48	24	39
(バンダー2 計)	(1000円)	0	0	170	33	36	33	226	47	47	47	36	47	36	107	53	87
(バンダー1 計)	(1000円)	56	118	33	33	28	109	23	52	28	82	28	44	67	42	51	33
(バンダ 合計)	(1000円)	56	118	203	66	64	142	249	99	75	129	64	91	103	149	104	120

- \*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。
- \*1ポット収容培養土資材量は、6インチP 1,100 m<sup>3</sup>
- \*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。
- \*バンダ(品種選定・育成試験)は、植付開始時のみ栽培ハウス規模を計上してある。

VI-A-24 年度別栽培資材費 2作目合計 試験事業 【低地案内】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
(7/17)合計	82	545	777	252	269	285	262	262	262	262	262	262	262	262	262	262
(バンダ 計)	56	118	203	66	64	142	249	99	75	129	64	91	103	149	104	120
(2作目合計)	138	663	980	318	333	427	511	361	337	391	326	353	365	411	366	382

VI-A-25 年度別園芸資材費 試験事業 【低地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
<b>【ファレノアシス】</b>																							
標準施設(遮光度)	370 m <sup>2</sup> /棟				ポリフィルム必要率(対的/面積)=								1.24				遮光ネット必要率(対的/面積)=					1.57	
ハウス棟数	1	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
フィルム必要量(㎡)	459	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459	1,835	459			
ネット9.0%必要	581	581	1,743	0								581	581	1,743	0								
遮光度60%施設	370 m <sup>2</sup> /棟				ポリフィルム必要率(対的/面積)=								1.24				遮光ネット必要率(対的/面積)=					1.57	
ハウス棟数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
フィルム必要量(㎡)	0	459		459		459		459		459		459		459		459		459		459			
ネット60%必要	0	581										581											
<b>【バンド】</b>																							
標準施設(遮光度)	330 m <sup>2</sup> /棟				ポリフィルム必要率(対的/面積)=								0.00				遮光ネット必要率(対的/面積)=					1.09	
ハウス棟数	1	1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			
フィルム必要量(㎡)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ネット60%必要	360	0	719	360	0							360	0	719	360	0							
<b>【CP苗 2件目共用】</b>																							
遮光度90%施設	370 m <sup>2</sup> /棟				ポリフィルム必要率(対的/面積)=								1.24				遮光ネット必要率(対的/面積)=					1.57	
ハウス棟数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
フィルム必要量(㎡)	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0	459	0			
ネット60%必要	581	0										581	0										
<b>資料単価(円/m<sup>2</sup>)</b>																							
ポリ	239																						
ネット	661				ネット60% 275				ネット30%= 226														
<b>園芸資材費(1000円)</b>																							
ポリフィルム	219	219	548	219	548	219	548	219	548	219	548	219	548	219	548	219	548	219	548	219			
ネット90%	768	384	1,152	0	0	0	0	0	0	0	0	768	384	1,152	0	0	0	0	0	0			
ネット60%	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0			
ネット30%	81	0	162	81	0	0	0	0	0	0	0	81	0	162	81	0	0	0	0	0			
合計	1,068	763	1,862	300	548	219	548	219	548	219	1,397	763	1,862	300	548	219	548	219	548	219			

\* ポリフィルムは2年毎に、遮光ネットは10年毎に替える。  
 \* [ ] は、新規建設年度 [ ] は、追加建設年度

## 附属資料 1. の 2

### VI-1 栽培計画関連

(高地案件)

- VI-B-1 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 1-1 ファレノブシス)
- VI-B-2 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 1-2 ファレノブシス)
- VI-B-3 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-1 デンドロビウム)
- VI-B-4 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 2-2 デンドロビウム)
- VI-B-5 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 3-1 ミルトニア)
- VI-B-6 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 3-2 ミルトニア)
- VI-B-7 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 4-1 CP苗)
- VI-B-8 連続栽培規模と設置施設 (試験事業 4-2 CP苗)
- VI-B-9 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 1-1 3作目)
- VI-B-10 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 1-2 3作目)
- VI-B-11 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 2-1 CP苗)
- VI-B-12 連続栽培規模と設置施設 (本格事業 2-2 CP苗)
- VI-B-13 年度別必要施設 (試験事業)
- VI-B-14 本格事業期間における栽培規模
- VI-B-15 苗ステージ別栽培面積 (試験事業)
- VI-B-16 苗ステージ別栽培面積 (本格事業)
- VI-B-17 苗ステージ別栽培面積 (試験+本格)
- VI-B-18 苗調達計画 (試験事業)
- VI-B-19 年度別栽培費用 (試験事業 ファレノブシス)
- VI-B-20 年度別栽培費用 (試験事業 デンドロビウム)
- VI-B-21 年度別栽培費用 (試験事業 ミルトニア)
- VI-B-22 年度別栽培費用 (試験事業 総括)
- VI-B-23 年度別栽培資材費 (試験事業 ファレノブシス)
- VI-B-24 年度別栽培資材費 (試験事業 デンドロビウム)
- VI-B-25 年度別栽培資材費 (試験事業 ミルトニア、3作目合計)
- VI-B-26 年度別園芸資材費 (試験事業)

VI-B-1 連続栽培規模(ハウス規模=㎡)と設置施設(棟数=320㎡/棟) 試験事業分(1-1)

7月/ハウス	2年度				3年度				4年度							
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
【標準値 N】	34	34	34	34	75	75	75	75	282	282	282	282	207	207	207	207
栽培規模	0	0	0	0	75	75	75	75	282	282	282	282	207	207	207	207
設置施設数	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
【標準値 S】	18	18	18	18	40	40	40	40	139	139	139	139	207	207	207	207
栽培規模	0	0	0	0	40	40	40	40	139	139	139	139	207	207	207	207
設置施設数	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【標準値 90%施設】	18	18	18	18	40	40	40	40	139	139	139	139	207	207	207	207
栽培規模	0	0	0	0	40	40	40	40	139	139	139	139	207	207	207	207
設置施設数	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

\*栽培規模にはCP苗数も含まれています。



VI-B-3 連続栽培規模(ハウス規模=290㎡/棟)と設置施設(棟数=290㎡/棟) 試験事業分(2-1)

		2年度					3年度					4年度										
テントロビウム1年度		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
【標準施設A】	1.4.1年度植	CP苗	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
	2.5.6年度植	CP苗	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
栽培規模	設置施設数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CP苗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【標準施設B】1年度	1.4.7年度植	CP苗	132	132	132	132	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	135	135
	2.5.8年度植	CP苗	132	132	132	132	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	135	135
栽培規模	設置施設数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CP苗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【標準施設C】1年度	1.4.7年度植	CP苗	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
	2.5.9年度植	CP苗	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
栽培規模	設置施設数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CP苗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*栽培規模にはCP苗栽培棟は含まれない。

VI-B-4 連続栽培規模(ハウス規模=㎡)と設置施設(棟数=290㎡/棟) 試験事業分(2-2)

アノドビウム5年度	7年度										8年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
【栽培施設A】																						
1.4.7年度値	20坪										20坪											
2.5.8年度値	71	73	73	73	73	73	73	73	73	73	253	253	253	253	253	253	253	253	253	253	253	
3.6.9年度値	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	
栽培規模	67	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	234	
設置施設数	301	541	541	541	541	541	541	541	541	541	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	
【栽培施設B】5年度																						
1.4.7年度値	40坪										40坪											
2.5.8年度値	475	475	475	475	475	475	475	475	475	475	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	
3.6.9年度値	135	139	139	139	139	139	139	139	139	139	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	
栽培規模	475	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	485	
設置施設数	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
【栽培施設C】5年度																						
1.4.7年度値	20坪										20坪											
2.5.8年度値	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	
3.6.9年度値	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	
栽培規模	35	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	
設置施設数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

\*栽培施設はCP苗栽培規模は含まれない。













VI-B-13 年度別必要施設(試験事業の実栽培規模と設置施設)【高地案件】

		1年度	2	3	4	5	6	7	8
<b>ファレノプシス</b>									
標準施設 A	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	75	337	599	604	622	640	640	640
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	2	2	2	2	2	2	2
標準施設 B	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		153	685	1,220	1,235	1,262	1,118	1,279
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)		1	3	4	4	4	4	4
標準施設(計)	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	75	490	1,284	1,824	1,857	1,902	1,758	1,919
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	3	5	6	6	6	6	6
遮光度90%施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		40	179	318	318	319	280	320
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)		1	1	1	1	1	1	1
遮光度50%施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		40	180	320	320	320	280	320
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)		1	1	1	1	1	1	1
合計	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	75	570	1,643	2,462	2,495	2,541	2,318	2,559
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	5	7	8	8	8	8	8
<b>デンドロビウム</b>									
標準施設 A	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	0	67	301	535	541	560	579	579
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	0	1	2	2	2	2	2	2
標準施設 B	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		0	136	614	1,099	1,115	1,137	1,159
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)		0	1	3	4	4	4	4
標準施設(計)	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	0	67	437	1,149	1,640	1,675	1,716	1,738
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	0	1	3	5	6	6	6	6
遮光度50%施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		0	36	160	284	284	287	290
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)		0	1	1	1	1	1	1
合計	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	0	67	473	1,309	1,924	1,959	2,003	2,028
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	0	1	4	6	7	7	7	7
<b>ミルトニア</b>									
標準施設 A	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	52	183	314	314	316	318	318	318
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	1	1	1	1	1	1	1
標準施設 B	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		245	872	1,505	1,529	1,564	1,599	1,599
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)		1	3	5	5	5	5	5
標準施設(計)	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	52	428	1,186	1,819	1,845	1,882	1,917	1,917
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	2	4	6	6	6	6	6
遮光度80%施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )		52	183	314	314	316	318	318
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)		1	1	1	1	1	1	1
合計	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	52	480	1,369	2,133	2,159	2,198	2,235	2,235
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	3	5	7	7	7	7	7
<b>CP苗(ファレノプシス、ミルトニア共用)</b>									
標準施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	71	389	391	394	406	406	406	406
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	1	2	2	2	2	2	2	2
<b>CP苗(デンドロビウム用)</b>									
標準施設	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	65	232	235	241	247	247	247	247
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	1	1	1	1	1	1	1	1

VI-B-14 本格事業期間における栽培規模 【高地案件】

		6年度	7	8	9	10	11	12
【試験事業分】								
ファレノプシス	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	2,541	2,318	2,559	2,559	2,559	2,559	2,559
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	8	8	8	8	8	8	8
デンドロビウム	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	1,959	2,003	2,028	2,028	2,028	2,028	2,028
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	7	7	7	7	7	7	7
ミルトニア	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	2,198	2,235	2,235	2,235	2,235	2,235	2,235
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	7	7	7	7	7	7	7
CP苗(ファレノプシス・ミルトニア)								
	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	406	406	406	406	406	406	406
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	2	2	2	2	2	2	2
CP苗(デンドロビウム)								
	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	247	247	247	247	247	247	247
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	1	1	1	1	1	1	1
【本格事業における拡大分】								
ファレノプシス	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	402	1,801	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	2	6	10	10	10	10	10
デンドロビウム	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	0	364	1,632	2,900	2,900	2,900	2,900
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	0	2	6	10	10	10	10
ミルトニア	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	526	1,863	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	2	6	10	10	10	10	10
CP苗(ファレノプシス・ミルトニア)								
	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	557	557	557	557	557	557	557
	設置施設棟数(320m <sup>2</sup> /棟)	2	2	2	2	2	2	2
CP苗(デンドロビウム)								
	年度最大栽培規模(m <sup>2</sup> )	353	353	353	353	353	353	353
	設置施設棟数(290m <sup>2</sup> /棟)	2	2	2	2	2	2	2

VI-B-15 苗ステージ別栽培面積(ハウス規模m<sup>2</sup>) 試験事業分

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度以降
ファレノシプス								
CP苗	34	139	139	142	144	144	144	144
2インチP苗	75	308	308	316	321	321	321	321
4インチP苗		262	1,073	1,073	1,101	1,119	1,119	1,119
ゲンドロビウム	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
CP苗	65	232	235	241	247	247	247	247
2インチP苗		67	239	242	248	254	254	254
4インチP苗			234	833	843	862	887	887
ミルトニア	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
CP苗	37	250	252	252	262	262	262	262
2インチP苗	52	349	353	353	367	367	367	367
4インチP苗		131	885	895	897	934	934	934

VI-B-16 苗ステージ別栽培面積(ハウス規模m<sup>2</sup>) 本格事業分

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度以降
ファレノシプス							
CP苗	180	180	180	180	180	180	180
2インチP苗	402	402	402	402	402	402	402
4インチP苗		1,399	1,399	1,399	1,399	1,399	1,399
	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度以降
デンドロビウム							
CP苗	353	353	353	353	353	353	353
2インチP苗		364	364	364	364	364	364
4インチP苗			1,268	1,268	1,268	1,268	1,268
	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度以降
ミルトニア							
CP苗	377	377	377	377	377	377	377
2インチP苗	526	526	526	526	526	526	526
4インチP苗		1,337	1,337	1,337	1,337	1,337	1,337

VI-B-17 苗ステージ別栽培面積(m<sup>2</sup>) 試験事業分+本格事業分

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度以降
ファレノシプス								
CP苗	34	139	139	142	144	324	324	324
2インチP苗	75	308	308	316	321	723	723	723
4インチP苗		262	1,073	1,073	1,101	1,119	2,518	2,518
デンドロビウム								
CP苗	65	232	235	241	247	600	600	600
2インチP苗		67	239	242	248	254	618	618
4インチP苗			234	833	843	862	887	2,155
ミルトニア								
CP苗	37	250	252	252	262	639	639	639
2インチP苗	52	349	353	353	367	893	893	893
4インチP苗		131	885	895	897	934	2,271	2,271

VI-B-18 苗調達計画 試験事業分 【高地案件】

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度以降
<b>ファレノプシス</b>								
C P 苗栽培規模 (107m <sup>2</sup> )	34	139	139	142	144	144	144	144
フラスコ苗必要数(フラスコ数)	453	1,853	1,853	1,893	1,920	1,920	1,920	1,920
調達法別フラスコ数								
購入(現地)	151	618	618	631	320			
購入(日本)	302	1,235	1,235	1,244	640			
実生(試験)				9				
実生(生産)					942	960	960	
組織培養(試験)				9	18			
組織培養(生産)						960	960	1,920
<b>デンドロビウム</b>								
C P 苗栽培規模 (107m <sup>2</sup> )	65	232	235	241	247	247	247	247
フラスコ苗必要数(フラスコ数)	1,083	3,867	3,917	4,017	4,117	4,117	4,117	4,117
調達法別フラスコ数								
購入(海外)	0	0	0	0				
購入(日本)	1,083	3,867	3,871	2,009				
実生(試験)			23					
実生(生産)				1,963	2,059	2,059		
組織培養(試験)			23	46				
組織培養(生産)					2,058	2,058	4,117	4,117
<b>ミルトニア</b>								
C P 苗栽培規模 (107m <sup>2</sup> )	37	250	252	252	262	262	262	262
フラスコ苗必要数(フラスコ数)	453	3,061	3,086	3,086	3,208	3,208	3,208	3,208
調達法別フラスコ数								
購入(海外)	0	0	0	0				
購入(日本)	453	3,061	3,052	1,543				
実生(試験)			17					
実生(生産)				1,509	1,604	1,604		
組織培養(試験)			17	34				
組織培養(生産)					1,604	1,604	3,208	3,208

\* フラスコ苗調達先は、ファレノプシスは海外1：日本2、その他は全て日本とした。

\* □ の数字は実生法・組織培養法確立試験に供するもの。

VI-B-19 年度別栽培費用 ファレノプシス 試験事業分 【高地案件】

	単位	1	2	3	4	5	6	7	8以降
<b>(規模)</b>									
購入7.5cm苗(海外)利用	7.5cm数	151	618	618	631	320	0	0	0
購入7.5cm苗(日本)利用	7.5cm数	302	1,235	1,235	1,244	640	0	0	0
実生法試験用種子	鞘数			8					
組織培養法試験用母株	本数	24							
実生法	7.5cm数	0	0	9	942	960	960	0	0
組織培養	7.5cm数	0	0	9	18	960	960	1,920	1,920
CP苗	m2(107.5cm規模)	34	139	139	142	144	144	144	144
2インチP苗	m2(107.5cm規模)	75	308	308	316	321	321	321	321
4インチP苗	m2(107.5cm規模)	0	262	1,073	1,073	1,101	1,119	1,119	1,119
<b>(単価)</b>									
購入7.5cm苗(海外)利用		153,000 円/100本							
購入7.5cm苗(日本)利用		275,400 円/100本							
実生法試験用種子		50,000 円/鞘							
組織培養法試験用母株		10,000 円/本							
実生法		4,588 円/100本							
組織培養		11,010 円/100本							
CP苗		7,736 円/100m2(107.5cm規模)							
2インチP苗		9,941 円/100m2(107.5cm規模)							
4インチP苗		5,321 円/100m2(107.5cm規模)							
<b>(費用)</b>									
購入7.5cm苗(海外)利用	1,000円	231	946	946	965	490	0	0	0
購入7.5cm苗(日本)利用	1,000円	832	3,401	3,401	3,426	1,763	0	0	0
実生法試験用種子	1,000円	0	0	400	0	0	0	0	0
組織培養法試験用母株	1,000円	240	0	0	0	0	0	0	0
実生法	1,000円	0	0	0	43	44	44	0	0
組織培養	1,000円	0	0	1	2	106	106	211	211
CP苗	1,000円	3	11	11	11	11	11	11	11
2インチP苗	1,000円	7	31	31	31	32	32	32	32
4インチP苗	1,000円	0	14	57	57	59	60	60	60
(計)	1,000円	1,313	4,403	4,847	4,535	2,505	253	314	314

- \*同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。
- \*実生・組織培養は、必要年度の前年に行う。
- \*実生法・組織培養法確立試験には、購入した種子・開花株を用いる。7.5cmは花茎の生長点を用い、良質生長点の確保に時間がかかるので、試験は他より一年遅れての実施となる。
- \*本表では、実生法・組織培養法試験のために導入する母株・種子の品種保存について考慮していないが、将来の売筋も含まれるので、別途、保存のための継続栽培など行うべきである。

VI-B-20 年度別栽培費用 デンドロビウム 試験事業分 【高地案件】

単位		1	2	3	4	5	6	7	8以降
<b>(規模)</b>									
購入75cm苗(海外)利用	75cm数	0	0	0	0	0	0	0	0
購入75cm苗(日本)利用	75cm数	1,083	3,867	3,871	2,009	0	0	0	0
実生法試験用種子	鞘数		8						
組織培養法試験用母株	本数	24							
実生法	75cm数	0	23	1,963	2,059	2,059	0	0	0
組織培養	75cm数	0	23	46	2,058	2,058	4,117	4,117	4,117
CP苗	m2(10m規模)	65	232	235	241	247	247	247	247
2インチP苗	m2(10m規模)	0	67	239	242	248	254	254	254
4インチP苗	m2(10m規模)	0	0	234	833	843	862	887	887
<b>(単価)</b>									
購入75cm苗(日本)利用	275,400 円/10075cm								
実生法試験用種子	50,000 円/鞘								
組織培養法試験用母株	10,000 円/本								
実生法	4,588 円/10075cm								
組織培養	11,010 円/10075cm								
CP苗	7,797 円/100m2(10m規模)								
2インチP苗	12,695 円/100m2(10m規模)								
4インチP苗	5,811 円/100m2(10m規模)								
<b>(費用)</b>									
購入75cm苗(海外)利用	1,000円	0	0	0	0	0	0	0	0
購入75cm苗(日本)利用	1,000円	2,983	10,650	10,661	5,533	0	0	0	0
実生法試験用種子	1,000円	0	400	0	0	0	0	0	0
組織培養法試験用母株	1,000円	240	0	0	0	0	0	0	0
実生法	1,000円	0	1	90	94	94	0	0	0
組織培養	1,000円	0	3	5	227	227	453	453	453
CP苗	1,000円	5	18	18	19	19	19	19	19
2インチP苗	1,000円	0	9	30	31	31	32	32	32
4インチP苗	1,000円	0	0	14	48	49	50	52	52
(計)	1,000円	3,228	11,081	10,818	5,952	420	554	556	556

\* 同一ステージ苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上した。

\* 実生・組織培養は、必要年度の前年に行う。

\* 本表では、実生法・組織培養法試験のために導入する母株・種子の品種保存について考慮していないが、将来の売筋も含まれるので、別途、保存のための継続栽培など行うべきである。

VI-B-21 年度別栽培費用 ミルトニア 試験事業分 【高地案件】

単位	1	2	3	4	5	6	7	8以降
(規模)								
購入7.5cm苗(海外)利用	7.5cm数	0	0	0	0	0	0	0
購入7.5cm苗(日本)利用	7.5cm数	453	3,061	3,052	1,543	0	0	0
実生法試験用種子	鞘数		4					
組織培養法試験用母株	本数	12						
実生法	7.5cm数	0	17	1,509	1,604	1,604	0	0
組織培養	7.5cm数	0	17	34	1,604	1,604	3,208	3,208
CP苗	m2(10.7cm規模)	37	250	252	252	262	262	262
2インチP苗	m2(10.7cm規模)	52	349	353	353	367	367	367
4インチP苗	m2(10.7cm規模)	0	131	885	895	897	934	934

(単価)

購入7.5cm苗(日本)利用	275,400 円/100本
実生法試験用種子	50,000 円/鞘
組織培養法試験用母株	10,000 円/本
実生法	4,588 円/100本
組織培養	11,010 円/100本
CP苗	7,736 円/100m2(10.7cm規模)
2インチP苗	9,941 円/100m2(10.7cm規模)
4インチP苗	5,321 円/100m2(10.7cm規模)

(費用)

購入7.5cm苗(海外)利用	1,000円	0	0	0	0	0	0	0
購入7.5cm苗(日本)利用	1,000円	1,248	8,430	8,405	4,249	0	0	0
実生法試験用種子	1,000円	0	200	0	0	0	0	0
組織培養法試験用母株	1,000円	120	0	0	0	0	0	0
実生法	1,000円	0	1	69	74	74	0	0
組織培養	1,000円	0	2	4	177	177	-353	353
CP苗	1,000円	3	19	19	19	20	20	20
2インチP苗	1,000円	5	35	35	35	36	36	36
4インチP苗	1,000円	0	7	47	48	48	50	50

ミルトニア(計) 1,000円 1,376 8,694 8,579 4,602 355 459 459 459

\*同一ステーション苗の栽培が2年度にまたがる場合は、栽培が始まる年度に計上

\*実生・組織培養は、必要年度の前年に行う。

\*本表では、実生法・組織培養法試験のために導入する母株・種子の品種保存について考慮していないが、将来の売筋も含まれるので、別途、保存のための継続栽培など行うべきである。

VI-B-22 年度別栽培費用 総括 試験事業分 【高地案件】

単位	1	2	3	4	5	6	7	8以降
ファレノシプス(計)	1,000円	1,313	4,403	4,847	4,535	2,505	253	314
デンドロビウム(計)	1,000円	3,228	11,081	10,818	5,952	420	554	556
ミルトニア(計)	1,000円	1,376	8,694	8,579	4,602	355	459	459
合計	1,000円	5,917	24,178	24,244	15,089	3,280	1,266	1,329

72,708

VI-B-23 年度別栽培資材費 ファレノプシス 試験事業 【高地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8以降
<b>CP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	34	139	139	142	144	144	144	144
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		105	0	3	2	0	0	0
※新規購入対象の規模(m2)	34	105	0	3	2	0	0	0
※新規購入必要率(対の規模 個/m2)	20	20	20	20	20	20	20	20
※新規購入数(100個)	7	21	0	1	0	0	0	0
※補足購入対象の規模(前年度m2)		34	139	139	142	144	144	144
※補足購入必要率(対の規模 個/m2)		4	4	4	4	4	4	4
※補足購入数(100個)		1	6	6	6	6	6	6
当年度※購入数(100個)	7	22	6	7	6	6	6	6
培養土資材必要率(同=m3/100※ト)	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
培養土資材必要量(m3)	0.210	0.660	0.180	0.210	0.180	0.180	0.180	0.180
<b>2インチP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	75	308	308	316	321	321	321	321
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		233	0	8	5	0	0	0
※新規購入対象の規模(m2)	75	233	0	8	5	0	0	0
※新規購入必要率(対の規模 個/m2)	122	122	122	122	122	122	122	122
※新規購入数(100個)	92	284	0	10	6	0	0	0
※補足購入対象の規模(前年度m2)		75	308	308	316	321	321	321
※補足購入必要率(対の規模 個/m2)		24	24	24	24	24	24	24
※補足購入数(100個)		18	74	74	76	77	77	77
当年度※購入数(100個)	92	302	74	84	82	77	77	77
培養土資材必要率(同=m3/100※ト)	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007
培養土資材必要量(m3)	0.644	2.114	0.518	0.588	0.574	0.539	0.539	0.539
<b>4インチP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	0	262	1,073	1,073	1,101	1,119	1,119	1,119
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		262	811	0	28	18	0	0
※新規購入対象の規模(m2)	0	262	811	0	28	18	0	0
※新規購入必要率(対の規模 個/m2)	29	29	29	29	29	29	29	29
※新規購入数(100個)	0	76	235	0	8	5	0	0
※補足購入対象の規模(前年度m2)		0	262	1,073	1,073	1,101	1,119	1,119
※補足購入必要率(対の規模 個/m2)		6	6	6	6	6	6	6
※補足購入数(100個)		0	16	64	64	66	67	67
当年度※購入数(100個)	0	76	251	64	72	71	67	67
培養土資材必要率(同=m3/100※ト)	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035
培養土資材必要量(m3)	0.000	2.660	8.785	2.240	2.520	2.485	2.345	2.345
資材(※ト=円/100個)	CP=	1,224	2477P=	612	4477P=	1,224		
(培養土資材=円/m3)	CP用=	4,912	2477P用=	10,710	4477P用=	10,710		
栽培資材費ポット	(1000円)	65	305	359	138	145	141	136
培養土資材	(1000円)	8	54	101	31	34	34	32
(77777777)	(1000円)	73	359	460	169	179	175	168

\*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。

\*1ポット収容培養土資材量は、 CP 300 m l

2477P 70 m l

4477P 350 m l

\*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。

VI-B-24 年度別栽培資材費 デンドロビウム 試験事業 【高地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8以降
<b>CP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	65	232	235	241	247	247	247	247
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		167	3	6	6	0	0	0
ホト新規購入対象ハウス規模(m2)	65	167	3	6	6	0	0	0
ホト新規購入必要率(対ハウス規模 個/m2)	23	23	23	23	23	23	23	23
ホト新規購入数(100個)	15	38	1	1	1	0	0	0
ホト補足購入対象ハウス規模(前年度m2)		65	232	235	241	247	247	247
ホト補足購入必要率(対ハウス規模 個/m2)		5	5	5	5	5	5	5
ホト補足購入数(100個)		3	12	12	12	12	12	12
当年度ホト購入数(100個)	15	41	13	13	13	12	12	12
培養土資材必要率(同=m3/100ホト)	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
培養土資材必要量(m3)	0.450	1.230	0.390	0.390	0.390	0.360	0.360	0.360
<b>2インチP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	0	67	239	242	248	254	254	254
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		67	172	3	6	6	0	0
ホト新規購入対象ハウス規模(m2)	0	67	172	3	6	6	0	0
ホト新規購入必要率(対ハウス規模 個/m2)	183	183	183	183	183	183	183	183
ホト新規購入数(100個)	0	123	315	5	11	11	0	0
ホト補足購入対象ハウス規模(前年度m2)		0	67	239	242	248	254	254
ホト補足購入必要率(対ハウス規模 個/m2)		37	37	37	37	37	37	37
ホト補足購入数(100個)		0	25	88	90	92	94	94
当年度ホト購入数(100個)	0	123	340	93	101	103	94	94
培養土資材必要率(同=m3/100ホト)	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007
培養土資材必要量(m3)	0.000	0.861	2.380	0.651	0.707	0.721	0.658	0.658
<b>4インチP苗栽培</b>								
当年度栽培ハウス規模(m2)	0	0	234	833	843	862	887	887
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)		0	234	599	10	19	25	0
ホト新規購入対象ハウス規模(m2)	0	0	234	599	10	19	25	0
ホト新規購入必要率(対ハウス規模 個/m2)	42	42	42	42	42	42	42	42
ホト新規購入数(100個)	0	0	98	252	4	8	11	0
ホト補足購入対象ハウス規模(前年度m2)		0	0	234	833	843	862	887
ホト補足購入必要率(対ハウス規模 個/m2)		8	8	8	8	8	8	8
ホト補足購入数(100個)		0	0	19	67	67	69	71
当年度ホト購入数(100個)	0	0	98	271	71	75	80	71
培養土資材必要率(同=m3/100ホト)	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035
培養土資材必要量(m3)	0.000	0.000	3.430	9.485	2.485	2.625	2.800	2.485
資材(ホト=円/100個)	CP=	1,224		2インチP=	612		4インチP=	1,224
(培養土資材=円/m3)	CP用=	4,912		2インチP用=	10,710		4インチP用=	10,710
栽培資材費ポット	(1000円)	18	125	344	405	165	170	171
培養土資材	(1000円)	2	15	64	111	37	38	39
(ホト=円)	(1000円)	20	140	408	516	202	208	210

\*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。

\* 1ポット収容培養土資材量は、 CP 300 ml  
2インチP 70 ml  
4インチP 350 ml

\*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。

VI-B-25 年度別栽培資材費 ミルトニア、3作目合計 試験事業【高地案件】

		1	2	3	4	5	6	7	8以降
<b>CP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m2)		37	250	252	252	262	262	262	262
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)			213	2	0	10	0	0	0
※新規購入対象ハウス規模(m2)		37	213	2	0	10	0	0	0
※新規購入必要率(対前規模 個/m2)		20	20	20	20	20	20	20	20
※新規購入数(100個)		7	43	0	0	2	0	0	0
※補足購入対象ハウス規模(前年度m2)			37	250	252	252	262	262	262
※補足購入必要率(対前規模 個/m2)			4	4	4	4	4	4	4
※補足購入数(100個)			1	10	10	10	10	10	10
当年度※購入数(100個)		7	44	10	10	12	10	10	10
培養土資材必要率(同=m3/100※)		0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
培養土資材必要量(m3)		0.210	1.320	0.300	0.300	0.360	0.300	0.300	0.300
<b>2インチP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m2)		52	349	353	353	367	367	367	367
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)			297	4	0	14	0	0	0
※新規購入対象ハウス規模(m2)		52	297	4	0	14	0	0	0
※新規購入必要率(対前規模 個/m2)		122	122	122	122	122	122	122	122
※新規購入数(100個)		63	362	5	0	17	0	0	0
※補足購入対象ハウス規模(前年度m2)			52	349	353	353	367	367	367
※補足購入必要率(対前規模 個/m2)			24	24	24	24	24	24	24
※補足購入数(100個)			12	84	85	85	88	88	88
当年度※購入数(100個)		63	374	89	85	102	88	88	88
培養土資材必要率(同=m3/100※)		0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007
培養土資材必要量(m3)		0.441	2.618	0.623	0.595	0.714	0.616	0.616	0.616
<b>4インチP苗栽培</b>									
当年度栽培ハウス規模(m2)		0	131	885	895	897	934	934	934
当年度拡大栽培ハウス規模(m2、前年比)			131	754	10	2	37	0	0
※新規購入対象ハウス規模(m2)		0	131	754	10	2	37	0	0
※新規購入必要率(対前規模 個/m2)		29	29	29	29	29	29	29	29
※新規購入数(100個)		0	38	219	3	1	11	0	0
※補足購入対象ハウス規模(前年度m2)			0	131	885	895	897	934	934
※補足購入必要率(対前規模 個/m2)			6	6	6	6	6	6	6
※補足購入数(100個)			0	8	53	54	54	56	56
当年度※購入数(100個)		0	38	227	56	55	65	56	56
培養土資材必要率(同=m3/100※)		0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035
培養土資材必要量(m3)		0.000	1.330	7.945	1.960	1.925	2.275	1.960	1.960
資材(※)=円/100個	CP=	1,224		2ｲﾝﾁP=	612		4ｲﾝﾁP=	1,224	
(培養土資材)=円/m3)	CP用=	4,912		2ｲﾝﾁP用=	10,710		4ｲﾝﾁP用=	10,710	
<b>栽培資材費ポット</b>									
	(1000円)	48	330	344	133	144	146	135	135
培養土資材	(1000円)	6	48	93	28	31	32	29	29
(ミルトニア計)	(1000円)	54	378	437	161	175	178	164	164
(ﾌﾙﾊﾞﾝｼﾞ計)		73	359	460	169	179	175	168	168
(ﾌﾞﾗﾝﾄﾞﾈｯﾄ計)		20	140	408	516	202	208	210	196
(3作目合計)		147	877	1,305	846	556	561	542	528

\*ポットは前年度栽培利用分に対し、毎年20%分の補足を計上した。

\*1ポット収容培養土資材量は、  
 CP 300 m l  
 2ｲﾝﾁP 70 m l  
 4ｲﾝﾁP 350 m l

\*培養土資材は、ポットと同様に新規購入・補足購入(前年度使用量の20%)するものとした。

VI-B-26 年度別園芸資材費 試験事業【高地案件】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
<b>【ファレノブシ】</b>																				
標準施設(遮光度70%) ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	1	3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	525	1,050	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575
ネット70%必要量(m <sup>2</sup> )	614	1,229	1,229	614								614	1,229	1,229	614					
遮光度90%施設 ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	0	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525
ネット90%必要量(m <sup>2</sup> )	0	614										614								
遮光度50%施設 ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	0	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525
ネット50%必要量(m <sup>2</sup> )	0	614										614								
<b>【デンドロビウム】</b>																				
標準施設(遮光度30%) ( 290 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	0	1	3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ネット30%必要量(m <sup>2</sup> )	0	305	609	609	305							305	609	609	305					
遮光度50%施設 ( 290 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ネット50%必要量(m <sup>2</sup> )	0	0	305									305								
<b>【ミルトニア】</b>																				
標準施設(遮光度60%) ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	1	2	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	525	525	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575
ネット60%必要量(m <sup>2</sup> )	614	614	1,229	1,229								614	614	1,229	1,229					
遮光度80%施設 ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	0	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525
ネット80%必要量(m <sup>2</sup> )	0	614										614								
<b>【CP苗 7W/3M/5M/7M共用】</b>																				
遮光度90%施設 ( 320 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525	525
ネット90%必要量(m <sup>2</sup> )	614	614										614	614							
<b>【CP苗 7W/5M/7M用】</b>																				
遮光度90%施設 ( 290 m <sup>2</sup> /棟)																				
ハウス棟数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フィルム必要量(m <sup>2</sup> )	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0	351	0
ネット90%必要量(m <sup>2</sup> )	499											499								
<b>資材単価(円/m<sup>2</sup>)</b>																				
ポリフィルム=	239																			
ネット70%=	343																			
ネット90%=	661																			
ネット50%=	275																			
ネット30%=	226																			
ネット60%=	275																			
ネット80%=	661																			
<b>園芸資材費(1000円)</b>																				
ポリフィルム	460	878	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255	962	1,255
ネット70%	211	422	422	211	0	0	0	0	0	0	0	211	422	422	211	0	0	0	0	0
ネット90%	736	812	0	0	0	0	0	0	0	0	0	736	812	0	0	0	0	0	0	0
ネット50%	0	169	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169	84	0	0	0	0	0	0
ネット30%	0	69	138	138	69	0	0	0	0	0	0	0	69	138	138	69	0	0	0	0
ネット60%	169	169	338	338	0	0	0	0	0	0	0	169	169	338	338	0	0	0	0	0
ネット80%	0	406	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	406	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,576	2,925	1,944	1,942	1,031	1,255	962	1,255	962	1,255	2,078	3,392	1,944	1,942	1,031	1,255	962	1,255	962	1,255

\* ポリフィルムは2年毎に、遮光ネットは10年毎に買替える。  
 \*  は、新規建設年度  は、追加建設年度



附属資料 2. の 1

VI-2 施設計画関連

(共通)

VI-CD-1 ハウス建設費一覧

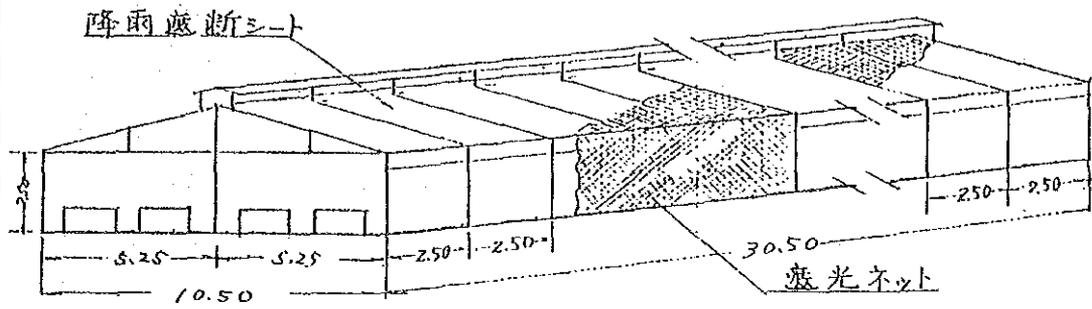
VI-CD-2 ハウス概観図

VI-CD-1 ハウス建設費一覧表(1棟当)

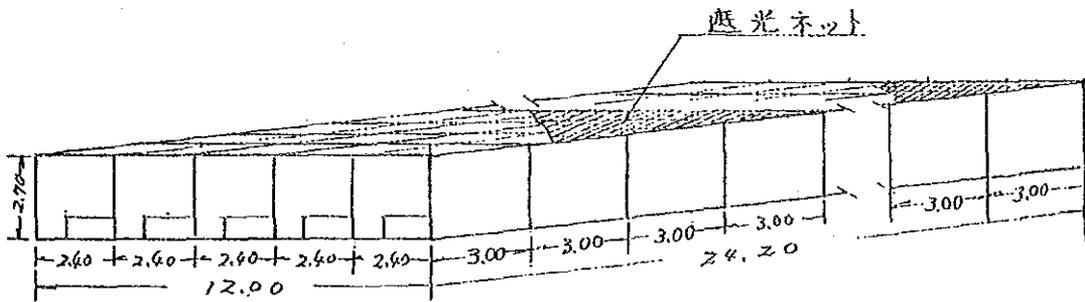
対象作目	高地案件				低地案件		
	プラスチックハウス (栽培棟)		ネットハウス (栽培棟)	プラスチックハウス (栽培棟)	プラスチックハウス (馴化施設)		ネットハウス
	プラスチック ミトニフ	CP苗	ネットハウス	CP苗	プラスチック	CP苗	ネットハウス
施設規模(m2)	320	320	290	290	370	370	330
ベンチ規模(m2)	156	156	159	159	186	186	180
ネット/施設(%)	48.8%	48.8%	54.8%	54.8%	50.3%	50.3%	54.5%
(建設費用)							
構造材(Rp/棟)	260,480	260,480	120,060	242,520	165,760	165,760	115,500
(Rp/施設m2)	814	814	414	836	448	448	350
ベンチ(Rp/棟)	122,460	209,040	124,020	221,800	195,920	195,920	189,540
(Rp/施設m2)	383	653	428	765	530	530	574
かみ水施設(Rp/棟)	26,500	26,500	31,520	31,520	25,250	25,250	32,250
(Rp/施設m2)	83	83	109	109	68	68	98
通路舗装(Rp/棟)	85,280	128,000	68,120	116,000	79,120	73,600	64,500
(Rp/施設m2)	267	400	235	400	214	199	195
合計(Rp/棟)	494,720	624,020	343,720	611,840	466,050	460,530	401,790
(Rp/施設m2)	1,546	1,950	1,185	2,110	1,260	1,245	1,218
合計(1000円/棟)	1,514	1,910	1,052	1,872	1,426	1,409	1,229
(円/施設m2)	4,731	5,969	3,628	6,455	3,854	3,808	3,724

VI-CD-2 ハウス概観図

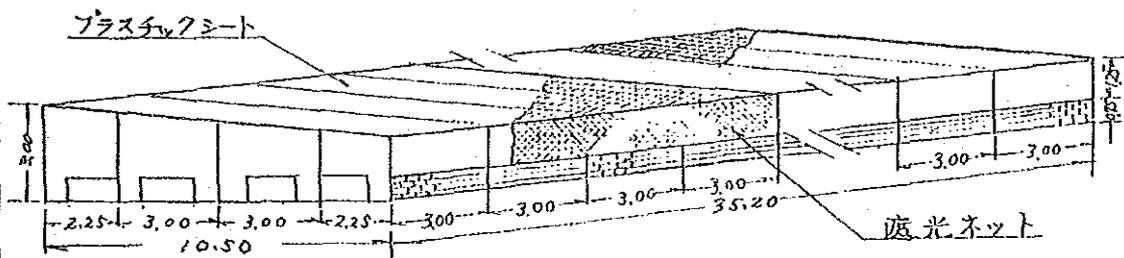
高地案件 プラスチックハウス



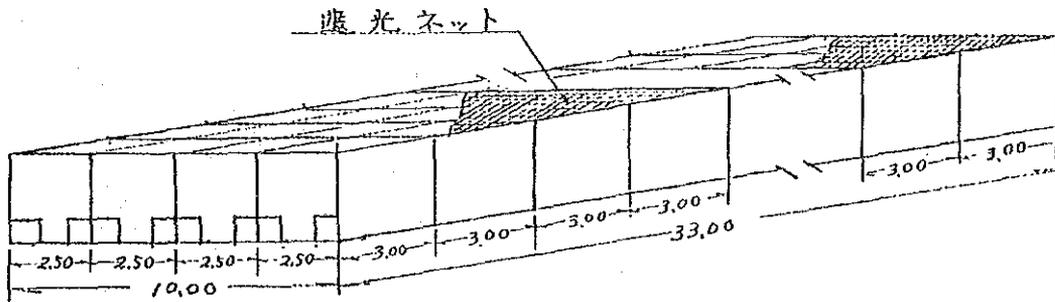
高地案件 ネットハウス



低地案件 プラスチックハウス



低地案件 ネットハウス





## 附属資料 2. の 2

### VI-2 施設計画関連

(低地案件)

- VI-C-1 農場建設計画 (試験事業)
- VI-C-2 施設建設計画 (試験事業)
- VI-C-3 農機・車両等調達計画 (試験事業)
- VI-C-4 農場備品等調達計画 (試験事業)
- VI-C-5 事務所備品等調達計画 (試験事業)
- VI-C-6 施設計画概要図
- VI-C-7 プラスチックハウス計画図
- VI-C-8 ネットハウス計画図

VI-C-1 農場建設計画(試験事業) 【低地案件】

	(規模)	(単価) (Rp)	(価額) (1,000Rp)	(備考) (1,000円)
伐開・整地	1.5 ha	41,000 /ha	62	190
道路建設				
幹線道路	600 m	800 /m	480	1,469
支線道路	724 m	330 /m	239	731
境界マシ設置	1,000 m	150 /m	150	459
(計)			931	2,849

\*全て初年度の建設

VI-C-2 施設建設計画(試験事業) 【低地案件】

	(規模)	(単価) (Rp)	(価額) (1,000Rp)	(備考) (1,000円)	
<b>1 管理施設</b>					
管理事務所	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
資材倉庫	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	280	857
農機車両格納庫	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	280	857
管理者宿舎	1 棟	120 m <sup>2</sup> /棟	17,000 /m <sup>2</sup>	2,040	6,242
職員宿舎	1 棟	160 m <sup>2</sup> /棟	3,900 /m <sup>2</sup>	624	1,909
電気引込工事	1 式	500 m	338,000 /km	169	517
変電機設置	1 式		336,000 /式	336	1,028
電話引込工事	1 式	100 m	175,000 /km	18	55
農場内配電工事	1 式	456 m	261 /m	119	364
(計)			4,406	13,481	
<b>2 給水施設</b>					
井戸	1 式		50,000 /式	50	153
取水ポンプ(2" 3.7KW)	1 式		81,000 /式	81	248
導水管路(216m)	1 式		97,380 /式	97	297
貯水槽(60m <sup>3</sup> )	1 式		201,200 /式	201	615
圧送ポンプ(4" 5.5KW)	1 式		65,340 /式	65	199
幹線管路(G. I. P. 12m)	1 式		5,030 /式	5	15
支線管路(G. I. P. 210m)	1 式		70,880 /式	71	217
配水管路(G. I. P. 108m)	1 式		40,780 /式	41	125
(計)			611	1,870	
<b>3 生産施設</b>					
栽培ハウス	6 棟	370 m <sup>2</sup> /棟	1,260 /m <sup>2</sup>	2,797	8,559
栽培ハウス	4 棟	330 m <sup>2</sup> /棟	1,218 /m <sup>2</sup>	1,608	4,920
CP苗育成ハウス	1 棟	370 m <sup>2</sup> /棟	1,245 /m <sup>2</sup>	461	1,411
作業棟	1 棟	320 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	896	2,742
実験研究室	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
会議室	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
組織培養室	1 棟	85 m <sup>2</sup> /棟	6,700 /m <sup>2</sup>	570	1,744
(計)			7,412	22,680	
合計			12,429	38,031	

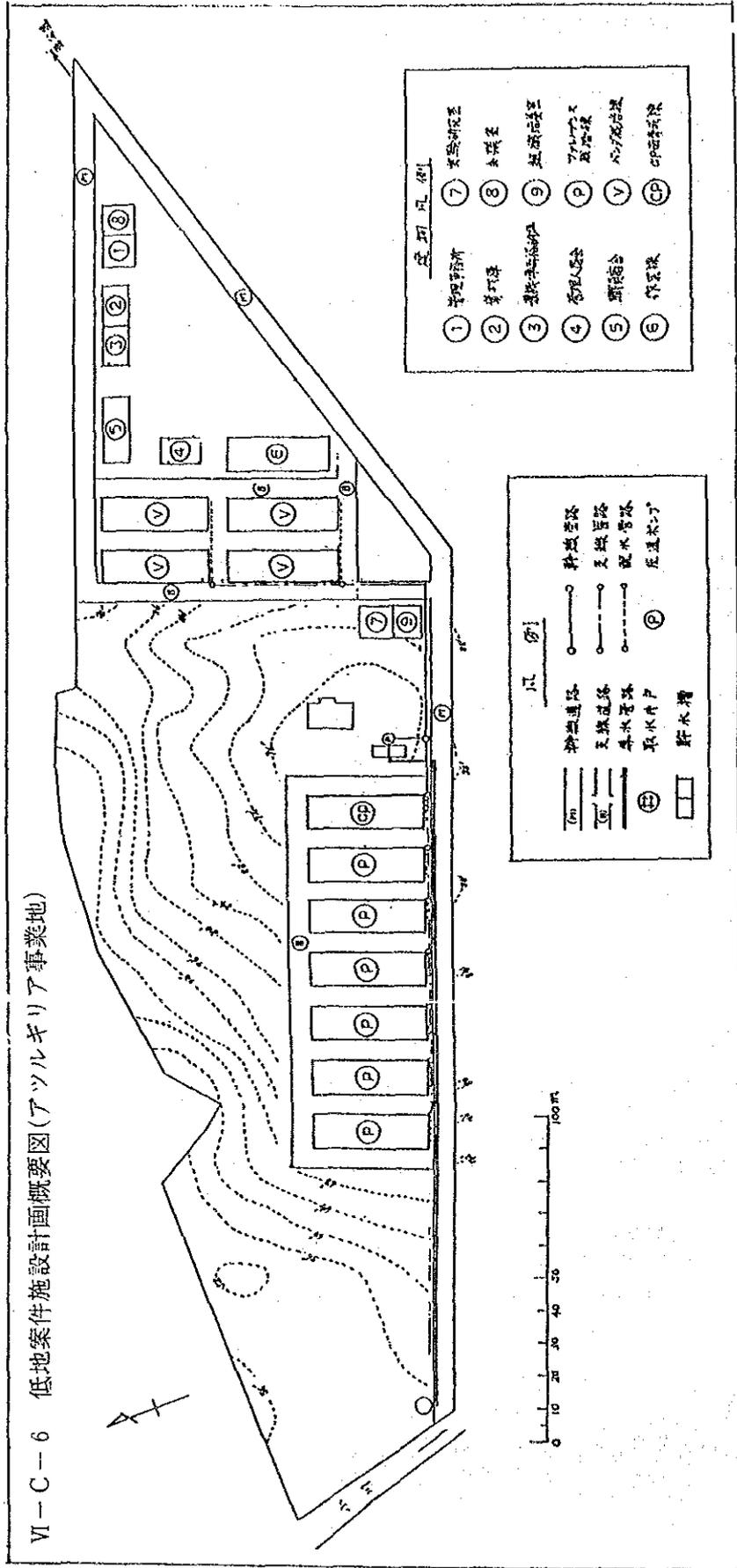
\*施設利用開始時期は数年度にまたがるが、本計画では建設年度は初年度とした。







VI-C-6 低地案件施設計画概要図(アツルギリア事業地)



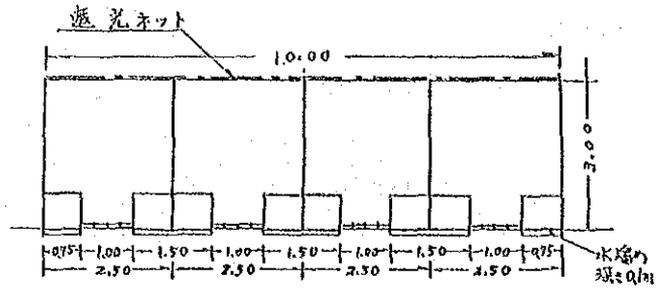


VI-C-8

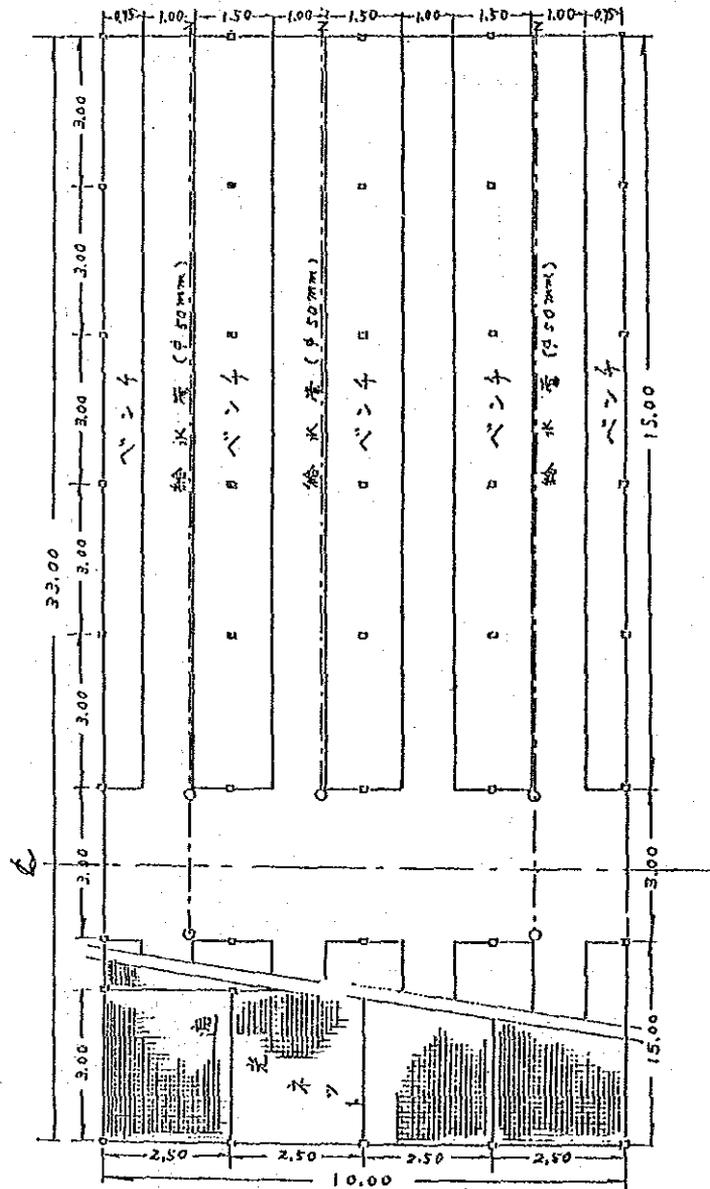
低地案件

ネットハウス計画図

正面図



平面図



## 附属資料 2. の 3

### VI-2 施設計画関連

(高地案件)

- VI-D-1 農場建設計画 (試験事業)
- VI-D-2 施設建設計画 (試験事業-1 ワタワラ)
- VI-D-3 施設建設計画 (試験事業-2 リンドウラ)
- VI-D-4 農機・車両等調達計画 (試験事業)
- VI-D-5 農場備品等調達計画 (試験事業-1 ワタワラ)
- VI-D-6 農場備品等調達計画 (試験事業-2 リンドウラ、2事業地合計)
- VI-D-7 事務所備品等調達計画 (試験事業-1 ワタワラ)
- VI-D-8 事務所備品等調達計画 (試験事業-2 リンドウラ、2事業地合計)
- VI-D-9 施設計画概要図 (ワタワラ事業地)
- VI-D-10 施設計画概要図 (リンドウラ事業地)
- VI-D-11 プラスチックハウス計画図
- VI-D-12 ネットハウス計画図

VI-D-1 農場建設計画 試験事業 【高地案件】

	(規模)	(単価) (Rp)	(価額)		(備考)
			(1,000Rp)	(1,000円)	
<b>【ワタワラ】</b>					
伐開・整地	2.5 ha	20,000 /ha	50	153	
盛土工事	7,200 m <sup>3</sup>	130 /m <sup>3</sup>	936	2,864	
築堤工事	280 m	340 /m	95	291	
排水工事					
承水路、堤内排水路	510 m	260 /m	133	407	
場内排水路 A	250 m	310 /m	78	239	
場内排水路 B	215 m	15 /m	3	9	
道路建設					
幹線道路	240 m	800 /m	192	588	
支線道路	270 m	330 /m	89	272	
境界フェンス設置	430 m	150 /m	65	199	
(ワタワラ計)			1,641	5,022	
<b>【リンドウラ】</b>					
テラス造成					
(A)	0.15 ha	27,000 /ha	4	12	
(B)	0.20 ha	55,000 /ha	11	34	
排水工事	100 m	520 /m	52	159	
道路建設					
幹線道路	1,280 m	800 /m	1,024	3,133	
支線道路	190 m	330 /m	63	193	
境界フェンス設置	665 m	150 /m	100	306	
(リンドウラ計)			1,254	3,837	
<b>【合計】</b>			<b>2,895</b>	<b>8,859</b>	

\*全て初年度の建設

## VI-D-2 施設建設計画(1) 試験事業 【ワタワラ】

		(規模)	(単価) (Rp)	(価額) (1,000Rp)	(備考)
<b>1 管理施設</b>					
管理事務所	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
資材倉庫	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	280	857
農機車両格納庫	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	280	857
管理者宿舍	1 棟	120 m <sup>2</sup> /棟	17,000 /m <sup>2</sup>	2,040	6,242
職員宿舍	1 棟	160 m <sup>2</sup> /棟	3,900 /m <sup>2</sup>	624	1,909
電気引込工事	1 式	1,000 m	338,000 /km	338	1,034
変電機設置	1 式		336,000 /式	336	1,028
電話引込工事	1 式	200 m	175,000 /km	35	107
農場内配電工事	1 式	700 m	261 /m	183	560
(計)				4,656	14,246
<b>2 給水施設</b>					
取水施設	1 式		124,000 /式	124	379
導水管路(100m)	1 式		26,000 /式	26	80
貯水槽(80m <sup>3</sup> )	1 式		234,000 /式	234	716
圧送ポンプ(6"×4" 15KW)	1 式		104,000 /式	104	318
幹線管路(G. I. P. 42m)	1 式		34,800 /式	35	107
支線管路(G. I. P. 168m)	1 式		76,400 /式	76	233
配水管路(G. I. P. 276m)	1 式		109,400 /式	109	334
(計)				708	2,167
<b>3 生産施設</b>					
栽培ハウス	15 棟	320 m <sup>2</sup> /棟	1,546 /m <sup>2</sup>	7,421	22,708
C P 苗育成ハウス	2 棟	320 m <sup>2</sup> /棟	1,950 /m <sup>2</sup>	1,248	3,819
作業棟	1 棟	320 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	896	2,742
実験研究室	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
会議室	1 棟	100 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	540	1,652
組織培養室	1 棟	160 m <sup>2</sup> /棟	6,700 /m <sup>2</sup>	1,072	3,280
(計)				11,717	35,853
(ワタワラ計) 1~3				17,081	52,266

\*施設利用開始時期は数年度にまたがるが、本計画では建設年度は初年度とした。

## VI-D-3 施設建設計画(2) 試験事業【リンドウラ】

		(規模)	(単価) (Rp)	(価額) (1,000Rp)	(備考)
<b>1 管理施設</b>					
管理事務所	1 棟	50 m <sup>2</sup> /棟	5,400 /m <sup>2</sup>	270	826
資材倉庫	1 棟	50 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	140	428
農機車両格納庫	1 棟	50 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	140	428
職員宿舎	1 棟	50 m <sup>2</sup> /棟	3,900 /m <sup>2</sup>	195	597
電気引込工事(3相)	1 式	1,300 m	338,000 /km	439	1,343
変電機設置	1 式		336,000 /式	336	1,028
電気引込工事(单相)	1 式	800 m	261,000 /km	209	640
電話引込工事	1 式	1,000 m	175,000 /km	175	536
農場内配電工事	1 式	205 m	261 /m	54	165
(計)				1,958	5,991
<b>2 給水施設</b>					
取水施設(ホップ径2"、15kw)	1 式		456,500 /式	457	1,398 H=170m
導水管路(G.I.P. 520m)	1 式		262,500 /式	263	805
貯水槽(40m <sup>3</sup> )	1 式		117,000 /式	117	358
圧送ポンプ(径3"、3.75kw)	1 式		75,100 /式	75	230
幹線管路(G.I.P. 90m)	1 式		50,700 /式	51	156
配水管路(G.I.P. 135m)	1 式		56,100 /式	56	171
(計)				1,019	3,118
<b>3 生産施設</b>					
栽培ハウス	7 棟	290 m <sup>2</sup> /棟	1,185 /m <sup>2</sup>	2,406	7,362
CP苗育成ハウス	1 棟	290 m <sup>2</sup> /棟	2,110 /m <sup>2</sup>	612	1,873
作業棟	1 棟	290 m <sup>2</sup> /棟	2,800 /m <sup>2</sup>	812	2,485
(計)				3,830	11,720
(リンドウラ計) 1~3				6,807	20,829
(ワクワラ計) 1~3				17,081	52,266
(2事業地合計)				23,888	73,095

\* 施設利用開始時期は数年度にまたがるが、本計画では建設年度は初年度とした。





VI-D-6 農場備品等調達計画(2) 試験事業【高地案件 リンドクラ、2事業地合計】

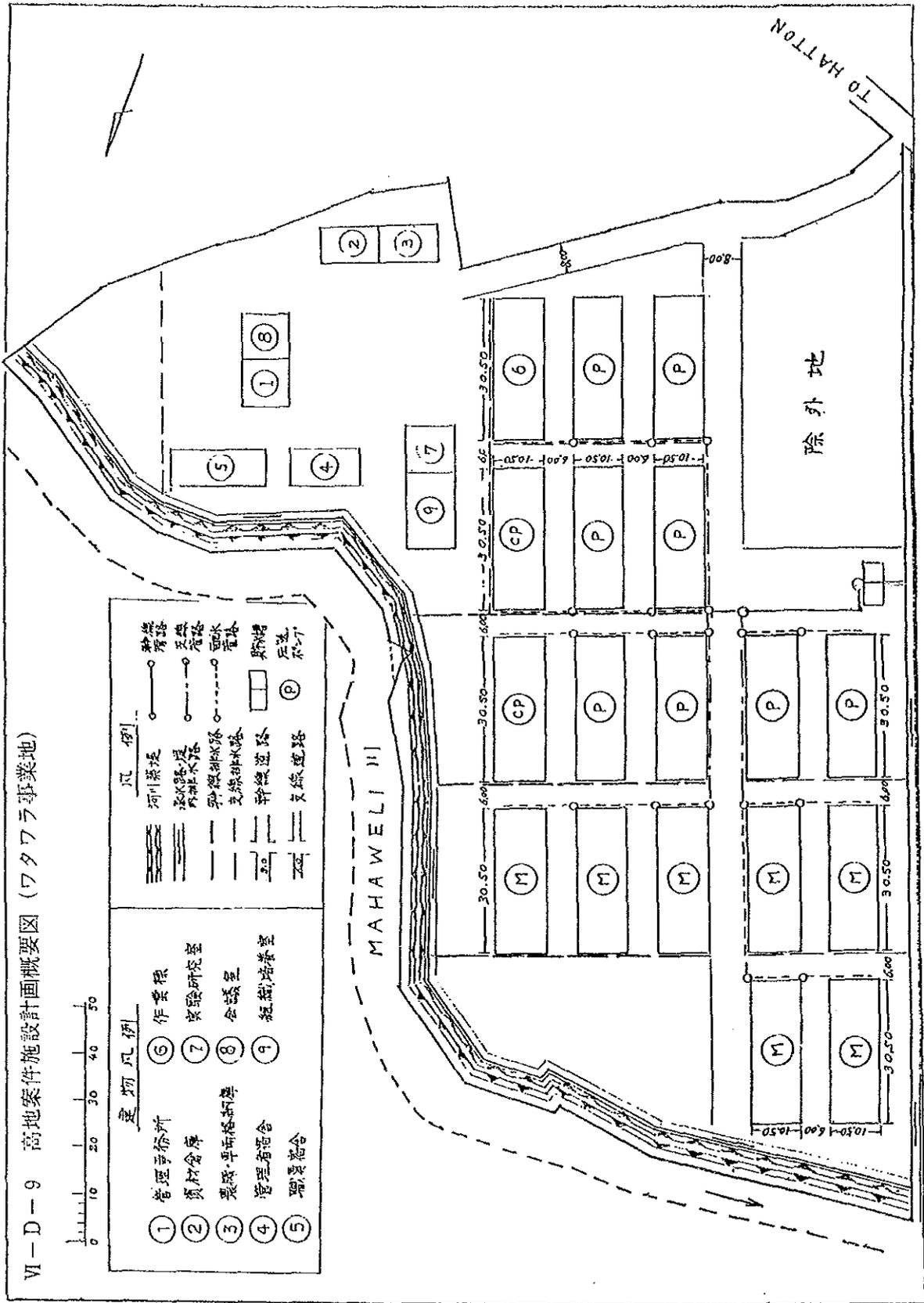
品名・数量	単価 (円)	年度別調達費用(1,000円)																			
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
農機具・測定機器																					
1 一輪車	850	13	5	13																	52
2 ジャベール	180	6	3	6																	42
3 レーキ	180	6	3	6																	42
4 作業台	1,880	17	5	17																	88
5 肥料ホフ(手動)	850	3	5	3																	12
6 ドラム缶(肥料貯蔵用)	1,000	3	5	3																	12
7 グラインダー	2,850	9	20	9																	9
8 ジャッキ	9,420	29	20	29																	29
9 万力	2,850	9	20	9																	9
10 工具一式	19,140	59	10	59																	118
12 大工器具一式	9,420	29	10	29																	58
13 巻尺	950	6	5	6																	24
14 台秤	2,850	27	10	27																	54
16 台車	13,420	41	20	41																	41
17 高圧土鍬調整器	19,140	59	5	59																	236
18 台車用調整器	57,140	175	10	175																	350
19 台車用調整器	28,570	87	10	87																	174
20 台車用調整器	23,710	73	10	73																	145
21 調整器調整器	570	2	5	2																	8
22 ビーム風速計	6,570	20	10	20																	40
23 土鍬調整器	23,710	73	10	73																	146
24 百葉箱	5,710	17	10	17																	34
25 その他	28,570	87	5	87																	348
(リンドクラ計 1,000円)		950	850	0	0	12	0	199	12	0	0	12	750	0	0	202	0	0	0	0	2,652
(ワタワラ計 1,000円)		908	908	0	0	22	0	221	22	0	0	22	798	0	0	243	0	0	0	0	2,299
(2事業地合計 1,000円)		1,758	1,758	0	0	34	0	411	34	0	0	34	1,548	0	0	445	0	0	0	0	4,952

VI-D-7 事務所備品等調達計画(1) 試験事業【ワタワラ】

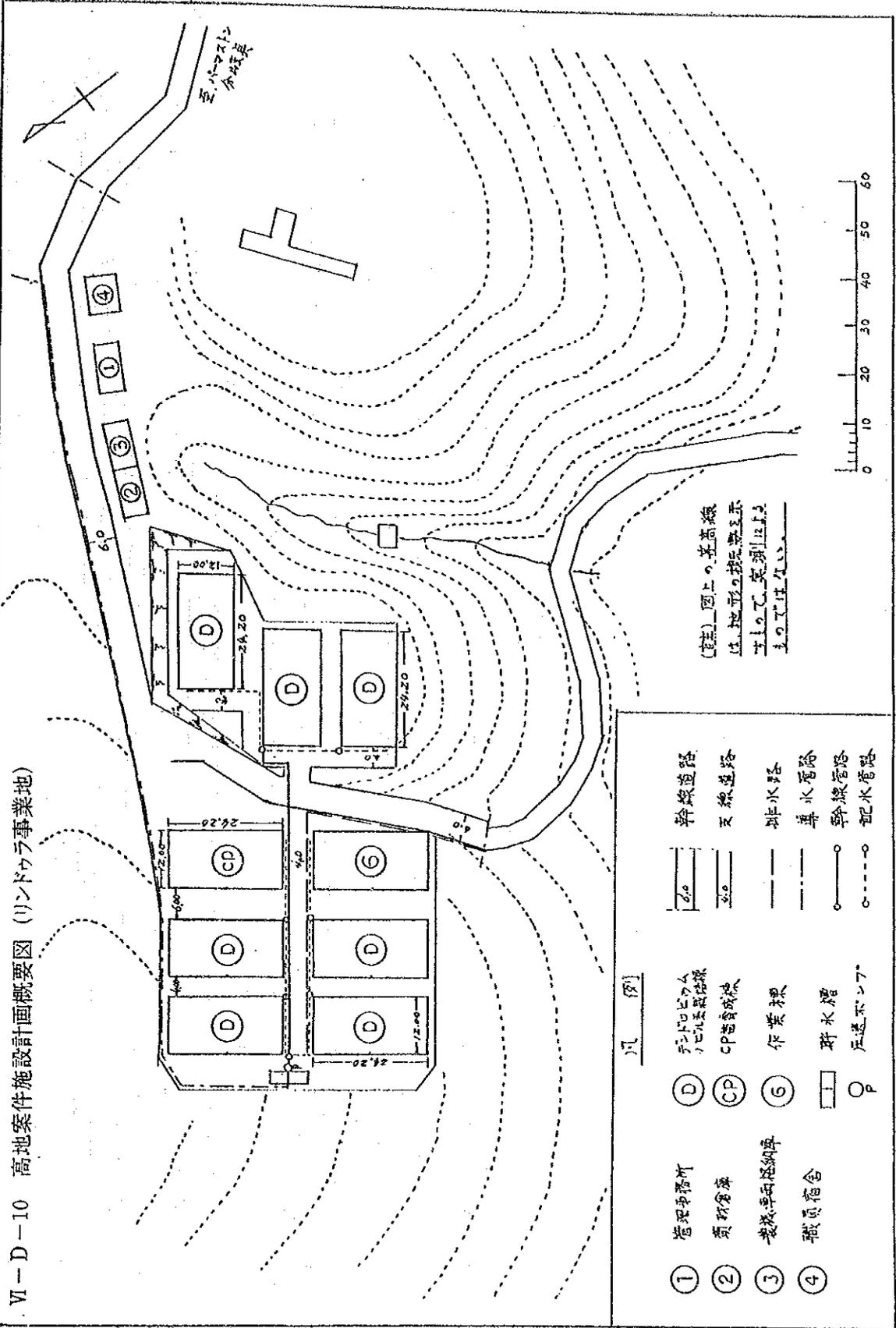
品名	数量	単価 (円)	年度 2	年度 3	年度 4	年度 5	年度 6	年度 7	年度 8	年度 9	年度 10	年度 11	年度 12	年度 13	年度 14	年度 15	年度 16	年度 17	年度 18	年度 19	年度 20	合計
事務用・検査用備品																						
1 紙入	10	2,700	83	20	83	20																83
2 反接セット	1	20,000	61	20	61	20																61
3 ヤマシネット	6	3,500	64	20	64	20																64
4 書類	2	10,000	61	20	61	20																61
5 パソコン	1	142,850	437	5	437	5																1,748
6 計算機	3	1,900	17	10	17	10																34
7 冷蔵庫	1	20,000	61	10	61	10																122
8 炊飯器	5	3,500	54	10	54	10																198
9 電話	6	3,800	79	20	79	20																79
10 複写機	1	123,000	383	5	383	5																1,532
11 墨粉器	5	5,710	87	10	87	10																174
12 冷水器	1	28,570	87	10	87	10																174
13 寝具	10	2,500	77	10	77	10																194
14 炊飯器	2	2,350	17	5	17	5																82
15 その他	1	28,570	87	5	87	5																348
(ワタワラ計 1,000円)			1,646	1,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,801



VI-D-9 高地案件施設設計圖概要圖 (ワタワラ事業地)



VI-D-10 高地案件施設計画概要図 (リンドウ事業地)

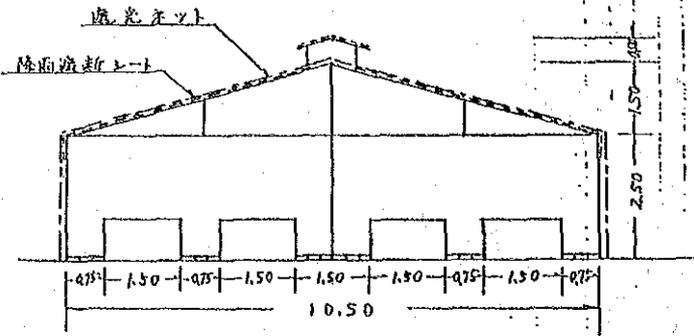


凡例	
①	管理事務所
②	須知倉庫
③	炭酸車両燃料庫
④	職員宿舎
⑤	CP
⑥	作業棟
⑦	D
○	貯水槽
□	圧送ポンプ
—	幹線道路
- - -	支線道路
—	排水路
- - -	専水管路
○—○	幹線管路
○- - -○	配水管路

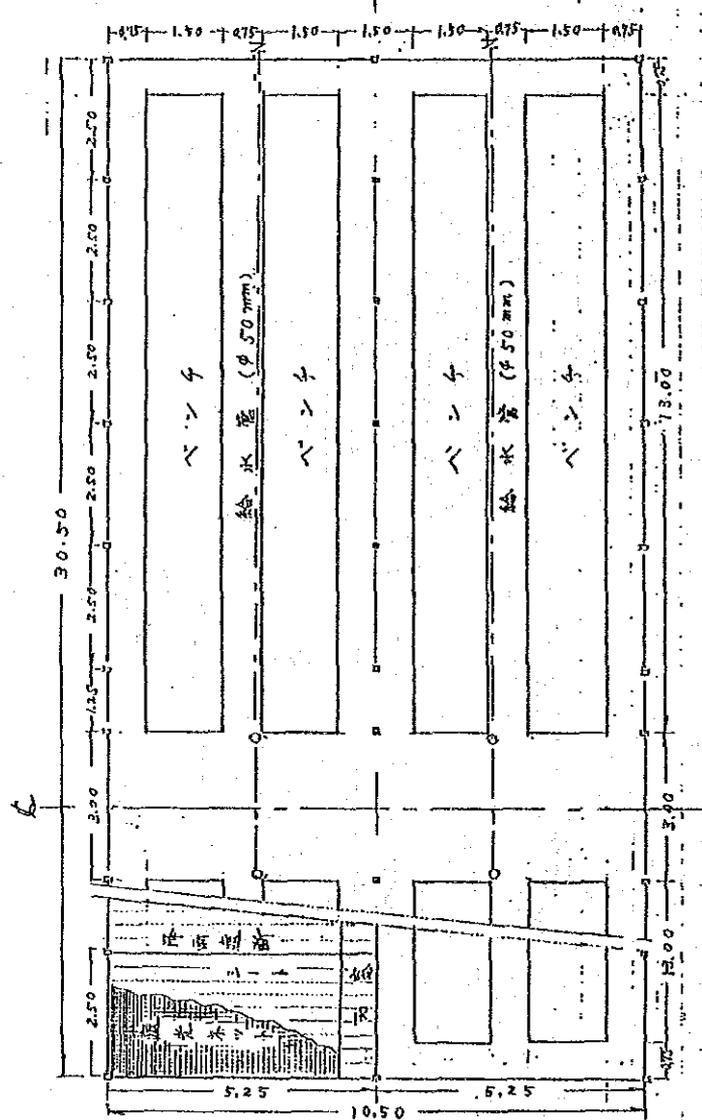
VI-D-11

高地案件  
プラスチックハウス計画図

正面図



平面図







### 附属資料 3. の 1

#### VII 経営計画関連

(低地案件)

- VII-A-1 生産出荷計画 (試験事業)
- VII-A-2 生産出荷計画 (本格事業)
- VII-A-3 生産出荷計画 (試験+本格)
- VII-A-4 年間梱包資材費 (試験事業)
- VII-A-5 年間梱包資材費 (試験+本格)
- VII-A-6 年間人件費・福利厚生費 (試験事業期間)
- VII-A-7 年間人件費・福利厚生費 (本格事業期間)
- VII-A-8 年間保守管理費
- VII-A-9 年間電気料
- VII-A-10 年間燃料・オイル代
- VII-A-11 資金借入・返済計画
- VII-A-12 減価償却計画 (総計)

VII - A - 1 生産出荷計画 試験事業分 【低地案件】

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17年度以降
<b>ファレノアシス</b>															
出荷ポツ苗生産規模(1071m <sup>2</sup> )	286	1,654	1,654	1,665	1,724	1,724	以降同数								
出荷ポツ苗生産数(100本)	85	489	489	493	510	510	以降同数								
出荷率(%)	30	40	50	60	70	85	以降同数								
出荷苗数(100本)	26	196	245	296	357	434	以降同数								
<b>パンダ</b>															
出荷ポツ苗生産規模(1071m <sup>2</sup> )						540	540	540	540	540	570	570	760	760	880
出荷ポツ苗生産数(100本)						105	105	105	105	105	111	111	152	152	171
出荷率(%)						90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
出荷苗数(100本)						95	95	95	95	95	100	100	137	137	154

\*パンダの品種選定試験・選抜試験の生産苗は、性格上、販売目的での出荷はしない。  
 \*パンダの組織培養法確立試験の生産苗は、出荷可能年度に他の苗生産がなく出荷するだけのポツ数に至らないので、除外した。

VII - A - 2 生産出荷計画 本格事業分 【低地案件】

	8	9	10	11	12年度以降
<b>ファレノアシス</b>					
出荷ポツ苗生産規模(1071m <sup>2</sup> )	2,875	2,875	2,875	2,875	2,875
出荷ポツ苗生産数(100本)	851	851	851	851	851
出荷率(%)	85	85	85	85	85
出荷苗数(100本)	723	723	723	723	723
<b>パンダ</b>					
出荷ポツ苗生産規模(1071m <sup>2</sup> )	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218
出荷ポツ苗生産数(100本)	432	432	432	432	432
出荷率(%)	90	90	90	90	90
出荷苗数(100本)	389	389	389	389	389

VII - A - 3 生産出荷計画 試験事業分+本格事業分 【低地案件】

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17年度以降
<b>ファレノアシス</b>															
出荷苗数(100本)	26	196	245	296	357	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157
<b>パンダ</b>															
出荷苗数(100本)						95	484	484	484	484	489	489	526	526	543

VII-A-4 年度別梱包資材費 試験事業【低地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17年度以降
ファレノアシス 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)																
出荷量(100本)	26	196	245	296	357	434	434	434	434	434	434	434	434	434	434	434	434
梱包単位(本/箱)	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
資材必要数(箱)	6	44	54	66	79	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
資材費(1,000円)	2	16	20	24	29	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
バンダ 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)																
出荷量(100本)							95	95	95	95	95	95	100	100	137	137	154
梱包単位(本/箱)							90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
資材必要数(箱)							106	106	106	106	106	106	111	111	152	152	171
資材費(1,000円)							39	39	39	39	39	39	41	41	56	56	63
梱包資材費(1000円)		2	16	20	24	29	74	74	74	74	74	74	76	76	91	91	98

※本文中の事業費総括表には、10,000円未満の年間費用/費目は計上していない。

VII-A-5 年度別梱包資材費 試験事業+本格事業

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17年度以降
ファレノアシス 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)																
出荷量(100本)	26	196	245	296	357	434	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157	1,157
梱包単位(本/箱)	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
資材必要数(箱)	6	44	54	66	79	96	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257
資材費(1,000円)	2	16	20	24	29	35	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
バンダ 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)																
出荷量(100本)							95	484	484	484	484	484	489	489	526	526	543
梱包単位(本/箱)							90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
資材必要数(箱)							106	538	538	538	538	538	543	543	584	584	603
資材費(1,000円)							39	198	198	198	198	198	200	200	215	215	222
梱包資材費(1000円)		2	16	20	24	29	134	293	293	293	293	293	295	295	310	310	317

※本文中の事業費総括表には、10,000円未満の年間費用/費目は計上していない。

Ⅶ-A-6 年間人件費・福利厚生費（試験事業期間）【低地案件】

	人数	月俸/人 (Rp)	月俸/人 (円)	福利厚生 係数	人件費・福利厚生費 (月額、円)	福利厚生費 (年額、円)
総支配人	1	30,000	91,800	0.15	105,570	1,266,840
ﾌﾞﾛｯｸﾞ- (技術)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	422,280
ﾌﾞﾛｯｸﾞ- (会計)	1	5,000	15,300	0.15	17,595	211,140
試験管理ｽﾀｯﾌ(日)	1	140,000	428,400	0.15	492,660	5,911,920
生産部長	1	12,000	36,720	0.15	42,228	506,736
農場長	1	10,000	30,600	0.15	35,190	422,280
主任	2	5,000	15,300	0.15	35,190	422,280
会計	1	8,000	24,480	0.15	28,152	337,824
事務員	2	4,000	12,240	0.15	28,152	337,824
ﾏﾈｯｼﾞ	1	4,000	12,240	0.15	14,076	168,912
運転手・ﾊﾞﾚﾀ	2	3,000	9,180	0.15	21,114	253,368
ﾘﾀｰﾜｰ	2	3,000	9,180	0.15	21,114	253,368
一般労務	10	2,000	6,120	0.15	70,380	844,560
警備チーム		10,000	30,600	0.00	30,600	367,200
(合計) 1,000円						11,727

\*年額は12月分

\*初年度は半年の50%とした。

\*8年度以降は、日本人試験管理ｽﾀｯﾌの駐在はない。総費用は、5,815,000円/年

Ⅶ-A-7 年間人件費・福利厚生費（本格事業期間）【低地案件】

	人数	月俸/人 (Rp)	月俸/人 (円)	福利厚生 係数	人件費・福利厚生費 (月額、円)	福利厚生費 (年額、円)
総支配人	1	30,000	91,800	0.15	105,570	1,372,410
ﾌﾞﾛｯｸﾞ- (技)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	457,470
ﾌﾞﾛｯｸﾞ- (会)	1	5,000	15,300	0.15	17,595	228,735
栽培管理ｽﾀｯﾌ(日)	1	140,000	428,400	0.15	492,660	6,404,580
生産部長	1	12,000	36,720	0.15	42,228	548,964
農場長(ﾌﾞﾗ)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	457,470
主任	4	5,000	15,300	0.15	70,380	914,940
会計	2	8,000	24,480	0.15	56,304	731,952
事務員	3	4,000	12,240	0.15	42,228	548,964
ﾏﾈｯｼﾞ	1	4,000	12,240	0.15	14,076	182,988
運転手・ﾊﾞﾚﾀ	4	3,000	9,180	0.15	42,228	548,964
ﾘﾀｰﾜｰ	4	3,000	9,180	0.15	42,228	548,964
一般労務	20	2,000	6,120	0.15	140,760	1,829,880
警備チーム		10,000	30,600	0.00	30,600	397,800
(合計) 1,000円						15,174

\*年額は13月分

\*上記表は6~10年度

\*11年度以降は、日本人の駐在はない。総費用は 8,769,000円/年

VII-A-8 年間保守管理費 試験事業分 【低地案件】

単位：1000 円		初期 投資額	管理費 必要率	年間保守管理費
<b>試験事業導入分（2～20年度）</b>				
農場建設		2,849	0.02	57
施設建設		38,031	0.02	761
農機・車両等	農機・車両	21,203	0.02	424
	農場備品等	908	0.02	18
	事務所等備品	1,646	0.02	33
(計)				1,293
<b>本格の事業導入分（7～20年度）</b>				
農場建設		2,580	0.02	52
施設建設		42,690	0.02	854
農機・車両等	農機・車両	17,705	0.02	354
	農場備品	193	0.02	4
	事務所等備品	881	0.02	18
(計)				1,282
<b>試験+本格</b>				
2～6年度				1,293
7年度以降				2,575

Ⅶ-A-9 年間電気料 【低地案件】

	消費電力 (Kwh)	電力単価 (Rp/Kwh)	年間電気料 (Rp)	年間電気料 (円)
<b>試験事業分</b>				
基本料			2,880	8,813
事務所・宿舎	3,000	2.20	6,600	20,196
ポンプ	4,000	2.20	8,800	26,928
(合計) 1,000円				56
<b>本格事業分</b>				
基本料			2,880	8,813
事務所・宿舎	1,000	2.20	2,200	6,732
ポンプ	10,000	2.20	22,000	67,320
(合計) 1,000円				83
<b>試験+本格 (1,000円)</b>				
1年度				28
2~5年度				56
6年度				98
7年度以降				139

\* 1年度、6年度（本格事業分）は通常年度の半分とした。

Ⅶ-A-10 年間燃料・オイル代 【低地案件】

	年間 稼働量	燃料 L当り 稼働量	燃料 単価 (Rp/L)	対燃料 オイル 必要率(額)	年間 燃料オイル代 (Rp)	年間 燃料オイル代 (円)
<b>試験事業分</b>						
トラクター	300 時間	0.20	11.2	0.30	21,840	66,830
ハブ・トラクター	200 時間	0.40	30.2	0.30	19,630	60,068
動力噴霧機	500 時間	1.00	30.2	0.30	19,630	60,068
トラック	10,000 Km	6.00	11.2	0.30	24,267	74,257
コンテナトラック	2,000 Km	6.00	11.2	0.30	4,853	14,850
ピクアアア	10,000 Km	7.00	30.2	0.30	56,086	171,623
連絡車両	20,000 Km	7.00	30.2	0.30	112,171	343,243
(合計)	1,000円					791
<b>本格事業分</b>						
トラクター	600 時間	0.20	11.2	0.30	43,680	133,661
ハブ・トラクター	400 時間	0.40	30.2	0.30	39,260	120,136
動力噴霧機	1,000 時間	1.00	30.2	0.30	39,260	120,136
トラック	10,000 Km	6.00	11.2	0.30	24,267	74,257
コンテナトラック	5,000 Km	6.00	11.2	0.30	12,133	37,127
ピクアアア	10,000 Km	7.00	30.2	0.30	56,086	171,623
連絡車両	10,000 Km	7.00	30.2	0.30	56,086	171,623
(合計)	1,000円					829
<b>試験+本格(1,000円)</b>						
1年度						396
2~5年度						791
6年度						1,206
7年度以降						1,620

\* 1年度、6年度(本格事業分)は通常年度の半分とした。

VII-A-11 資金借入・返済計画【低地案件】(

年度	借入金	借入残高	返済額	利子(2%)
1	77,100	77,100		1,542
2	26,300	103,400		2,068
3	27,100	130,500		2,610
4	18,000	148,500		2,970
5	13,800	162,300		3,246
6		151,480	10,820	3,246
7		140,660	10,820	3,030
8		129,840	10,820	2,813
9		119,020	10,820	2,597
10		108,200	10,820	2,380
11		97,380	10,820	2,164
12		86,560	10,820	1,948
13		75,740	10,820	1,731
14		64,920	10,820	1,515
15		54,100	10,820	1,298
16		43,280	10,820	1,082
17		32,460	10,820	866
18		21,640	10,820	649
19		10,820	10,820	433
20		0	10,820	216
(計)	162,300		162,300	38,404

Ⅶ－A－12 減価償却計画(総計) 【低地案件】

単位：1,000円	年間償却額					
	2年度	3	4	5	6	7年度以降
<b>試験事業</b>						
農場建設工事	142	142	142	142	142	142
施設建設工事	1,902	1,902	1,902	1,902	1,902	1,902
農機・車両等	2,588	2,588	2,588	2,588	2,588	2,588
農場備品等	113	113	113	113	113	113
事務所備品等	240	240	240	240	240	240
(試験事業計)	4,985	4,985	4,985	4,985	4,985	4,985
<b>本格事業</b>						
農場建設工事	0	0	0	0	0	129
施設建設工事	0	0	0	0	0	2,135
農機・車両等	0	0	0	0	0	2,099
農場備品等	0	0	0	0	0	35
事務所備品等	0	0	0	0	0	94
(本格事業計)	0	0	0	0	0	4,492
<b>【減価償却費総計】</b>	<b>4,985</b>	<b>4,985</b>	<b>4,985</b>	<b>4,985</b>	<b>4,985</b>	<b>9,477</b>

\*定額法を採用、残存価額はゼロとした。



## 附属資料 3. の 2

### VII 経営計画関連

(高地案件)

- VII-B-1 生産出荷計画 (試験事業)
- VII-B-2 生産出荷計画 (本格事業)
- VII-B-3 生産出荷計画 (試験+本格)
- VII-B-4 年間梱包資材費 (試験事業)
- VII-B-5 年間梱包資材費 (試験+本格)
- VII-B-6 年間人件費・福利厚生費 (試験事業期間)
- VII-B-7 年間人件費・福利厚生費 (本格事業期間)
- VII-B-8 年間保守管理費
- VII-B-9 年間電気料
- VII-B-10 年間燃料・オイル代
- VII-B-11 資金借入・返済計画
- VII-B-12 減価償却計画 (総計)

Ⅶ-B-1 生産出荷計画 試験事業分 【高地案件】

	4	5	6	7	8年度以降
ファレノプシス					
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	262	1,073	1,073	1,101	1,119
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	75	308	308	316	322
出荷率(%)	30	50	60	70	85
出荷苗数(100本)	23	154	185	221	274
デンドロビウム					
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	234	833	843	862	887
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	197	703	711	727	749
出荷率(%)	30	50	60	70	90
出荷苗数(100本)	59	352	427	509	674
ミルトニア					
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	131	885	895	897	934
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	38	254	257	258	268
出荷率(%)	30	50	60	70	80
出荷苗数(100本)	11	127	154	181	214

Ⅶ-B-2 生産出荷計画 本格事業分 【高地案件】

	9	10	11	12年度以降
ファレノプシス				
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	1,399	1,399	1,399	1,399
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	402	402	402	402
出荷率(%)	85	85	85	85
出荷苗数(100本)	342	342	342	342
デンドロビウム				
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	1,268	1,268	1,268	1,268
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	1,070	1,070	1,070	1,070
出荷率(%)	90	90	90	90
出荷苗数(100本)	963	963	963	963
ミルトニア				
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産規模(㎡λm2)	1,337	1,337	1,337	1,337
出荷ｽﾀｰｼﾞ"苗生産数(100本)	384	384	384	384
出荷率(%)	80	80	80	80
出荷苗数(100本)	307	307	307	307

Ⅶ-B-3 生産出荷計画 試験事業分+本格事業分 【高地案件】

	4	5	6	7	8	9年度以降
ファレノプシス						
出荷苗数(100本)	23	154	185	221	274	316
デンドロビウム						
出荷苗数(100本)	59	352	427	509	674	1,637
ミルトニア						
出荷苗数(100本)	11	127	154	181	214	521

VII-B-4 年度別梱包資材費 試験事業 【高地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
ファレノアシス 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		23	154	185	221	274	274	274	274	274	274	274	274	274	274	274
梱包単位(本/箱)		200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
資材必要数(箱)		12	77	93	111	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
資材費(1,000円)		4	28	34	41	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
デンドロビウム 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		59	352	427	509	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674
梱包単位(本/箱)		150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
資材必要数(箱)		39	235	285	339	449	449	449	449	449	449	449	449	449	449	449
資材費(1,000円)		14	86	105	125	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165
ミルトニア 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		11	127	154	181	214	214	214	214	214	214	214	214	214	214	214
梱包単位(本/箱)		250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250
資材必要数(箱)		4	51	62	72	86	86	86	86	86	86	86	86	86	86	86
資材費(1,000円)		1	19	23	26	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
梱包資材費(1000円)		19	133	162	192	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247

VII-B-5 年度別梱包資材費 試験事業+本格事業 【高地案件】

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16年度以降
ファレノアシス 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		23	154	185	221	274	616	616	616	616	616	616	616	616	616	616
梱包単位(本/箱)		200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
資材必要数(箱)		12	77	93	111	137	308	308	308	308	308	308	308	308	308	308
資材費(1,000円)		4	28	34	41	50	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
デンドロビウム 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		59	352	427	509	674	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637	1,637
梱包単位(本/箱)		150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
資材必要数(箱)		39	235	285	339	449	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091
資材費(1,000円)		14	86	105	125	165	401	401	401	401	401	401	401	401	401	401
ミルトニア 資材単価=	368 円/箱(40cm x100cm x50cm)															
出荷量(100本)		11	127	154	181	214	521	521	521	521	521	521	521	521	521	521
梱包単位(本/箱)		250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250
資材必要数(箱)		4	51	62	72	86	208	208	208	208	208	208	208	208	208	208
資材費(1,000円)		1	19	23	26	32	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77
梱包資材費(1000円)		19	133	162	192	247	591	591	591	591	591	591	591	591	591	591

VII - B - 6 年間人件費・福利厚生費(試験事業期間) 【高地案件】

	人数	月俸/人 (Rp)	月俸/人 (円)	福利厚生 係数	人件費・福利厚生費 (月額、円)	福利厚生費 (年額、円)
技術顧問(日)	1	160,000	489,600	0.15	563,040	6,756,480
総支配人	1	30,000	91,800	0.15	105,570	1,266,840
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ(技術)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	422,280
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ(会計)	1	5,000	15,300	0.15	17,595	211,140
試験管理ｽﾀｯﾌ(日)	1	140,000	428,400	0.15	492,660	5,911,920
生産部長	1	12,000	36,720	0.15	42,228	506,736
農場長(ﾌﾞﾗｽ)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	422,280
農場長(ﾘﾄﾞﾗ)	1	8,000	24,480	0.15	28,152	337,824
主任	3	5,000	15,300	0.15	52,785	633,420
会計	1	8,000	24,480	0.15	28,152	337,824
事務員	2	4,000	12,240	0.15	28,152	337,824
ﾏﾆｯｼﾞ	2	4,000	12,240	0.15	28,152	337,824
運転手・ﾊﾞﾚｰﾀ	4	3,000	9,180	0.15	42,228	506,736
ﾘﾀﾞｰｰｶｰ	3	3,000	9,180	0.15	31,671	380,052
一般労務	20	2,000	6,120	0.15	140,760	1,689,120
警備チーム		20,000	61,200	0.00	61,200	734,400
(合計) 1,000円						20,793

\*年額は12月分

\*初年度は平年の50%とした。

\*日本人技術顧問の派遣は当初2年間。3年度以降の総費用は、

14,037,000円/年

\*8年度以降は、日本人スタッフの駐在はない。総費用は、

8,125,000円/年

VII - B - 7 年間人件費・福利厚生費(本格事業期間) 【高地案件】

	人数	月俸/人 (Rp)	月俸/人 (円)	福利厚生 係数	人件費・福利厚生費 (月額、円)	福利厚生費 (年額、円)
総支配人	1	30,000	91,800	0.15	105,570	1,372,410
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ(技)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	457,470
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ(会)	1	5,000	15,300	0.15	17,595	228,735
栽培管理ｽﾀｯﾌ(日)	1	140,000	428,400	0.15	492,660	6,404,580
生産部長	1	12,000	36,720	0.15	42,228	548,964
農場長(ﾌﾞﾗｽ)	1	10,000	30,600	0.15	35,190	457,470
農場長(ﾘﾄﾞﾗ)	1	8,000	24,480	0.15	28,152	365,976
主任	6	5,000	15,300	0.15	105,570	1,372,410
会計	2	8,000	24,480	0.15	56,304	731,952
事務員	4	4,000	12,240	0.15	56,304	731,952
ﾏﾆｯｼﾞ	3	4,000	12,240	0.15	42,228	548,964
運転手・ﾊﾞﾚｰﾀ	8	3,000	9,180	0.15	42,228	548,964
ﾘﾀﾞｰｰｶｰ	6	3,000	9,180	0.15	42,228	548,964
一般労務	40	2,000	6,120	0.15	281,520	3,659,760
警備チーム		20,000	61,200	0.00	61,200	795,600
(合計) 1,000円						17,676

\*年額は13月分

\*上記表は6~10年度

\*11年度以降は、日本人スタッフの駐在はない。総費用は、

11,271,000円/年

Ⅶ-B-8 年間保守管理費 【高地案件】

単位：1000 円	初期 投資額	管理費 必要率	年間保守管理費
試験事業導入分（2～20年度）			
農場建設	8,859	0.02	177
施設建設	73,095	0.02	1,462
農機・車両等	農機・車両	0.02	563
	農場備品等	0.02	35
	事務所等備品	0.02	42
（計）			2,279
本格の事業導入分（7～20年度）			
農場建設	9,288	0.02	186
施設建設	70,739	0.02	1,415
農機・車両等	農機・車両	0.02	444
	農場備品	0.02	7
	事務所等備品	0.02	26
（計）			2,078
試験+本格			
2～6年度			2,279
7年度以降			4,357

VII - B - 9 年間電気料 【高地案件】

	消費電力 (Kwh)	電力単価 (Rp/Kwh)	年間電気料 (Rp)	(円)
<b>試験事業分</b>				
基本料(2カ所)			5,760	17,626
事務所・宿舎	5,000	2.20	11,000	33,660
ポンプ	30,000	2.20	66,000	201,960
(合計) 1,000円				253
<b>本格事業分</b>				
基本料(2カ所)			5,760	17,626
事務所・宿舎	2,000	2.20	4,400	13,464
ポンプ	40,000	2.20	88,000	269,280
(合計) 1,000円				300
<b>試験+本格 (1,000円)</b>				
1年度				127
2~5年度				253
6年度				403
7年度以降				553

\* 1年度、6年度(本格事業分)は通常年度の半分とした。

Ⅶ-B-10 年間燃料・オイル代 【高地案件】

	年間 稼働量	燃料 L当り 稼働量	燃料 単価 (Rp/L)	対燃料 オイル 必要率(額)	年間 燃料オイル代 (Rp)	年間 燃料オイル代 (円)
<b>試験事業分</b>						
トラクター	600 時間	0.20	11.2	0.30	43,680	133,661
ハト・トラクター	400 時間	0.40	30.2	0.30	39,260	120,136
動力噴霧機	1,000 時間	1.00	30.2	0.30	39,260	120,136
トラック	20,000 Km	6.00	11.2	0.30	48,533	148,511
インタートラック	5,000 Km	6.00	11.2	0.30	12,133	37,127
ビュック	30,000 Km	7.00	30.2	0.30	168,257	514,866
連絡車両	30,000 Km	7.00	30.2	0.30	168,257	514,866
(合計)	1,000円					1,589
<b>本格事業分</b>						
トラクター	1,000 時間	0.20	11.2	0.30	72,800	222,768
ハト・トラクター	600 時間	0.40	30.2	0.30	58,890	180,203
動力噴霧機	1,500 時間	1.00	30.2	0.30	58,890	180,203
トラック	20,000 Km	6.00	11.2	0.30	48,533	148,511
インタートラック	10,000 Km	6.00	11.2	0.30	24,267	74,257
ビュック	20,000 Km	7.00	30.2	0.30	112,171	343,243
連絡車両	20,000 Km	7.00	30.2	0.30	112,171	343,243
(合計)	1,000円					1,492
<b>試験+本格 (1,000円)</b>						
1年度						795
2~5年度						1,589
6年度						2,335
7年度以降						3,081

\* 1年度、6年度(本格事業分)は通常年度の半分とした。

VII-B-11 資金借入・返済計画 【高地案件】

年度	借入金	借入残高	返済額	利子(2%)
1	134,600	134,600		2,692
2	54,500	189,100		3,782
3	47,300	236,400		4,728
4	37,700	274,100		5,482
5	1,800	275,900		5,518
6		257,507	18,393	5,518
7		239,114	18,393	5,150
8		220,721	18,393	4,782
9		202,328	18,393	4,414
10		183,935	18,393	4,047
11		165,542	18,393	3,679
12		147,149	18,393	3,311
13		128,756	18,393	2,943
14		110,363	18,393	2,575
15		91,970	18,393	2,207
16		73,577	18,393	1,839
17		55,184	18,393	1,472
18		36,791	18,393	1,104
19		18,398	18,393	736
20		0	18,398	368
(計)	275,900		275,900	66,347

VII - B - 12 減価償却計画(総計) 【高地案件】

単位：1,000円	年間償却額					
	2年度	3	4	5	6	7以降
<b>試験事業</b>						
農場建設工事	443	443	443	443	443	443
施設建設工事	3,655	3,655	3,655	3,655	3,655	3,655
農機・車両等	2,581	2,581	2,581	2,581	2,581	2,581
農場備品等(ワタワラ)	113	113	113	113	113	113
農場備品等(リンドウラ)	102	102	102	102	102	102
事務所備品等(ワタワラ)	240	240	240	240	240	240
事務所備品等(リンドウラ)	54	54	54	54	54	54
(試験事業計)	7,188	7,188	7,188	7,188	7,188	7,188
<b>本格事業</b>						
農場建設工事	0	0	0	0	0	464
施設建設工事	0	0	0	0	0	3,537
農機・車両等	0	0	0	0	0	2,636
農場備品等(ワタワラ)	0	0	0	0	0	35
農場備品等(リンドウラ)	0	0	0	0	0	28
事務所備品等(ワタワラ)	0	0	0	0	0	94
事務所備品等(リンドウラ)	0	0	0	0	0	53
(本格事業計)	0	0	0	0	0	6,847
<b>【減価償却費総計】</b>	<b>7,188</b>	<b>7,188</b>	<b>7,188</b>	<b>7,188</b>	<b>7,188</b>	<b>14,035</b>

\*定額法を採用、残存価額はゼロとした。

附属資料 4.

収集資料リスト

- 1 Annual Report 1990, Central Bank of Ceylon
- 2 Investmet Opportunities, Sri Lanka .Greater Colombo Economic Commission
- 3 List of 174 Wild Orchid Spieces, Peradeniya Botanical Garden
- 4 Control of Pesticide Act, Plant Protection Div., Department of Agriculture
- 5 Foreign Aid Indicators, External Resources Department, Ministry of Finance
- 6 List of Plants Allowd in Sri Lanka, Wild Life Conservation Department
- 7 Plant Quarantine Act, Plant Protection Div., Department of Agriculture







JICA